

消 防 年 報

平成 2 0 年度版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(平成 2 1 年刊行)

は し が き

1. この年報は、平成20年中における小豆地区消防本部の業務に関する

諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将

来の消防防災活動の資料とするため作成しました。

2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、その他の事項に

ついては暦年としました。

平成21年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1. 位置及び自然的条件	1
2. 管内図と消防本部・署の位置	2
3. 小豆郡内常備消防の沿革	3
4. 消防の沿革（組合）	4～13
5. 主たる総務行事	14
6. 歴代消防長	15
7. 歴代消防署長	15
8. 消防の組織・機構	16
9. 事務分掌	17～18
10. 管内面積及び人口・世帯数	18
11. 消防庁舎の現状	19
12. 職員の勤務年数	19
13. 職員の年齢	20
14. 職員の配置状況	20
15. 消防力の現勢	21
16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	21
17. 消防予算	22
18. 平成21年度町別一般会計予算と消防予算	22
19. 消防費基準財政需要額及び町負担金	22
20. 職員特殊技能資格取得状況	23
21. 職員諸手当調	24
22. 職員教養状況調	24
23. 職員居住地調	25
24. 職員任用退職状況調	25
25. 職員の推移	26

予 防

1. 主たる予防行事	27
2. 防火優良認定交付対象物状況	27
3. 自主防災組織の現況	27～28
4. 防火対象物現況	29
5. 防火管理者選任届状況	30
6. 建築同意事務処理状況	31～32
7. 危険物施設の現況	33
8. 危険物施設の許認可状況	33
9. 各種届出事務処理状況	34
10. 広報・広聴実施状況	34
11. 中高層建築物（4階以上）の現況	35

警 防

1. 主たる警防行事	3 7
2. 消防車両等配置状況	3 8
3. 主な機械器具の配置状況	3 9～4 0
4. 消火薬剤の備蓄状況	4 0
5. 消防水利の現況	4 1
6. 警防関係届出事務処理状況	4 1
7. 災害別出動状況	4 1
8. 救急法指導状況	4 2～4 3

通信指令室

1. 消防通信系統図	4 5
2. 通信施設状況	4 6～4 7
3. 1 1 9 番受信状況	4 8
4. 気象状況（観測地 消防本部）	4 8
5. 気象情報受理状況	4 9

火 災 統 計

1. 火災発生状況	5 1
2. 時間別火災状況	5 2
3. 月・曜日別火災状況	5 2
4. 覚知別火災状況	5 3
5. 原因別火災状況	5 3
6. 建物火災用途別火災状況	5 3
7. 過去 1 0 ヶ年の火災状況	5 4

救 急 統 計

1. 事故別救急出動状況	5 5
2. 覚知別救急出動状況	5 5
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	5 5
4. 時間別救急出動状況	5 6
5. 曜日別救急出動件数	5 6
6. 救急隊員の行った応急処置件数	5 6
7. 現場到着所要時間別出動状況	5 7
8. 収容所要時間別搬送人員	5 7
9. 年齢区分別搬送人員	5 7

1 0. 発生場所別搬送人員	5 8
1 1. 管轄外転院搬送件数	5 8
1 2. 傷病程度別搬送人員	5 8
1 3. 小豆 2 町、年別救急出動状況	5 9
1 4. 過去 1 0 ヶ年の主な救急出動状況	5 9

消 防 団

1. 2 町消防団現勢分布図	6 1
2. 消防団の組織・機構	6 2
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	6 3
4. 消防団員数及び装備状況	6 3 ～ 6 4
5. 町別消防車両等種別現況	6 4 ～ 6 5
6. 消防団員報酬調	6 5
7. 消防団員諸手当調	6 5

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

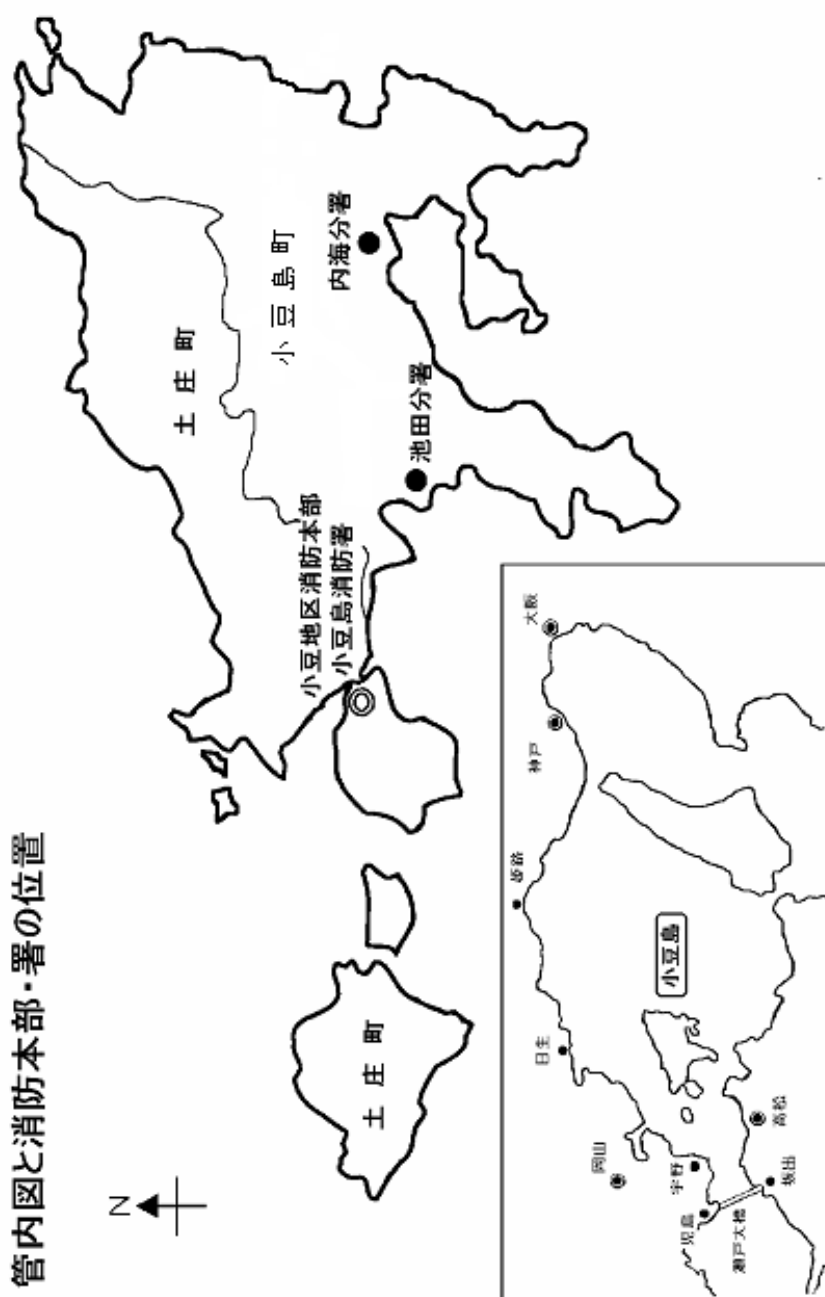
地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰817mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

気候は、四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



2. 管内図と消防本部・署の位置



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 10 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 12 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 10 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 11 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 13 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 17 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女子職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 18 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 19 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 17 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2ヵ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和46年7月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和47年3月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 初代管理者に内海町長川北四十二氏が就任。 初代消防長及び消防署長に清水勝氏が任命される。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5月	消防職員1名、事務職員（女）1名採用、職員総数47名となる。
6月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和48年1月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受

	け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。（旧ポンプ車は池田分署へ配置する。）消防職員 1 名退職、職員総数 4 5 名となる。
4 月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員 1 7 名を採用、職員総数 6 2 名となる。池田分署へ 3 名増員し、分署署員 5 名となり、夜間は通信員 1 名常駐する。
	内海分署庁舎落成し（内海町安田甲 1 4 4－9 0）移転する。
5 月	消防職員 1 名土庄町へ、職員総数 6 1 名となる。
7 月	消防職員 1 名退職し、職員総数 6 0 名となる。
8 月	内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。
	消防職員 1 名退職し、職員総数 5 9 名となる。
9 月	無線移動局 3 基、携帯局 5 基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11 月	消防署へ消防救急指令装置（NEC、FD201 型）を設置し、運用を開始する。
昭和 49 年 1 月	池田分署へ 6 名増員し、分署署員数 1 1 名となり隔日勤務体制をとる。
3 月	消防職員 2 名土庄町へ、1 名内海町へ転出し、職員総数 5 6 名となる。
4 月	第二代消防署長に役重正則氏が昇任される。消防職員 6 名採用、職員総数 6 2 名となる。
	内海分署へ救急車（トヨタハイエース 2 B 型）を配置するとともに 6 名を増員しポンプ車隊、救急車隊の 2 隊編成をとり分署署員数 1 9 名となる。池田分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。
5 月	内海分署において、救急業務を開始する。
7 月	消防本部へ査察広報車（トヨタカローラバン）を配置する。旧車は池田分署へ配置する。
	7 月 6 日、台風 8 号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者 2 9 名、重軽傷者 4 2 名、家屋全半壊 1 2 8 戸を出す大惨事となる。
	大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8 月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。
昭和 50 年 3 月	初代消防長清水勝氏及び職員 1 名退職し、職員総数 6 0 名となる。
	無線移動局 1 基、携帯局 5 基を増設する。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 2 名となる。
6 月	第二代消防長に内海町役場課長であった坂本傳氏が任命され、職員総数 6 3 名となる。
7 月	池田分署へ消防ポンプ車（ニッサン F H 6 0 型）を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9 月	無線移動局 2 基、携帯局 1 基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11 月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の 3 課制をとる。
昭和 51 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 1 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 4 名となる。

9 月

防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を 2 台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。
台風 1 7 号により、9 月 8 日から 9 月 1 3 日までに小豆島全域にわたり、わずか 6 日間で年間降雨量を超える 1, 4 0 0 ミリ（1 1 日～1 2 日で 8 0 0 ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして 3 9 名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。
史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9 月 1 2 日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々 1 2 日間連続出動する。
延出動職員数 7 3 9 名 延出動車両台数 7 5 台

被害の概要
死 者 39 名 重軽傷者 81 名 被災世帯 2,665 世帯
全壊家屋 209 戸 半壊家屋 268 戸 床上浸水 2,149 戸
床下浸水 2,942 戸

11 月

消防職員 1 名退職、職員総数 6 3 名となる。無線移動局 1 基、携帯局 3 基を増設する。

昭和 52 年 1 月

臨時事務職員 1 名採用。

3 月

無線携帯局 3 基を増設する。

4 月

消防職員 1 名池田町へ、職員総数 6 2 名となる。

6 月

第二代消防長坂本傳氏内海町へ。消防長事務取扱に内海町長川北四十二氏が任命され、職員総数 6 1 名となる。

昭和 53 年 3 月

初代管理者、内海町長川北四十二氏退任。

4 月

第二代管理者に土庄町長山脇利一氏が就任、次長として土庄町役場主幹であった洲本勝氏が任命される。消防職員 4 名採用、職員総数 6 6 名となる。

5 月

土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7 月

異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、5 4 年 2 月中旬から全面給水となった。

8 月

異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。（1 0 月中旬まで実施する。）内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 2 1 名となる。

9 月

日本消防協会より、救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置する。

昭和 54 年 3 月

内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7 月

小型動力ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、内海分署へ配置する。

10 月

油火災用ユニット式ポンププロポーションナー 1 式を 2 基購入し、本署と内海分署へ配置する。

11 月

小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。

12月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年 3 月	消防職員 1 名、臨時事務職員 1 名退職し、職員総数 6 5 名となる。
4 月	第四代消防長に消防次長であった洲本勝氏が昇任。消防職員 3 名採用、職員総数 6 8 名となる。
6 月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）2 台を購入し、本署と池田分署へ配置。
8 月	消防他 3 つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。組合管理者には、内海町長川北四十二氏が就任。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員 1 名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数 6 7 名となる。
10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーション 1 式を購入し池田分署へ配置。
11 月	油火災用特殊防火衣を 2 着購入し、本署へ配置する。 日本自動車工業会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急 2 号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年 4 月	第二代消防署長、役重正則氏退職。消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
5 月	第三代消防署長に副署長であった谷元哲彦氏昇任。
9 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年 3 月	消防ポンプ車（いすゞ C D—I）1 台を購入し、本署へ配置する。 旧消防ポンプ 1 号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。 日本損害保険協会より、救急車（日産キャラバン B—2）の寄贈を受け本署へ配置する。救急 3 号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
5 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、内海分署へ配置する。
6 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
10 月	消防職員 1 名小豆島老人ホームへ、職員総数 6 8 名となる。
昭和 58 年 3 月	第二代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。
4 月	第三代管理者に池田町長佐々木武雄氏就任。
8 月	日本消防協会より、救助資器材搬送車（日産アトラス）の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年 3 月	第四代消防長、洲本勝氏土庄町へ。 消防署に設置の救急指令装置（D-201E）更新する。 消防職員一名退職、職員総数 6 6 名となる。
4 月	第三代管理者、池田町長佐々木武雄氏退任。第四代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。第五代消防長に、消防次長であった谷元哲彦氏が昇任、消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
8 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、池田分署へ配置する。
11 月	第 8 回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車（日産キャラバン）の寄贈を受ける。

昭和 60 年 3 月	第四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。
4 月	第五代管理者に内海町長川西寿一氏就任。
7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A-I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。
	第五代消防長兼消防署長であった谷元哲彦氏退職。職員総数 66 名となる。
4 月	第六代消防長事務取扱に池田町長八木壮一郎氏が任命され、次長として池田町役場主幹であった大谷隆生氏が任命される。第四代消防署長に副署長であった中黒輝雄氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 68 名となる。
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。
	被害状況 焼損面積 128 ha 損害額 7,550 万円
	死者 1 名 負傷者 7 名
	出動人員（延） 出動車両等（延）
	小豆地区消防本部 275 名 消防ポンプ自動車 77 台
	土庄町消防団 1,772 名 小型動力ポンプ付積載車 72 台
	池田町消防団（応援） 228 名 その他の車両 61 台
	内海町消防団（応援） 294 名 偵察用ヘリコプター 3 機
	高松市消防局（応援） 213 名 空中消火用ヘリコプター 8 機
	神戸市消防局（応援） 5 名
	陸上自衛隊（応援） 112 名
	合 計 2,899 名
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 C D-I）を購入し、池田分署へ配置する。
3 月	第五代管理者、内海町長川西寿一氏退任。
4 月	第六代管理者に土庄町長山脇利一氏就任。
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。
昭和 63 年 3 月	第六代消防長事務取扱者、池田町長八木壮一郎氏退任。
4 月	第七代消防長に消防次長であった大谷隆生氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。

8月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11月	消防本部へ管轄区域内の119番を統合し、運用を開始する。
12月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、本署へ配置する。
平成元年3月	第六代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。消防職員の高齢化対策として2名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第七代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。消防職員3名採用、職員総数70名となる。
5月	消防職員1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数69名となる。
9月	防災工作車を2台購入、内海分署（トヨタトヨエースWキャブ）、池田分署（トヨタダイナWキャブ）へそれぞれ配置する。
10月	消防職員1名退職、職員総数68名となる。
平成2年2月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3月	消防本部の庁舎に非常電源装置を設置する。 消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	消防職員2名採用、1名退職し、職員総数68名となる。
6月	救助用機材（リフトバック）1式を購入し、本署へ配置する。
12月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成3年2月	本署の林野工作車（49年式日産FH60型）を廃車にする。
3月	第七代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第八代管理者に内海町長川西寿一氏就任。消防職員3名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
8月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。
平成4年3月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	消防職員2名採用、職員総数70名となる。
平成5年3月	第八代管理者、内海町長川西寿一氏退任。第七代消防長、大谷隆生氏池田町へ。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	第九代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。第八代消防長に消防署長であった中黒輝雄氏が昇任。第五代消防署長に総務課長であった前田忠氏が昇任。 消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
10月	日本消防協会より救急車（いすゞファエゴ2B型）の寄贈を受け、内海分署へ

	配置する。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。
平成 6 年 1 月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員 1 名派遣。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下 5 市、3 8 町、6 消防組合）
5 月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。
11 月	はしご付消防自動車（森田式 M L E H 5 - 3 5 R 型）を購入し本署へ配置する。
平成 7 年 3 月	第九代管理者、土庄町長塩本淳平氏退任。
4 月	第十代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。
6 月	第八代消防長、中黒輝雄氏逝去。職員総数 7 0 名となる。
7 月	第九代消防長兼署長に次長兼署長であった前田忠氏が昇任。
平成 8 年 3 月	基地局に県内共通波を設置する。
4 月	第九代消防長兼署長であった前田忠氏の署長兼務を解く。第六代消防署長に内海分署長であった木村敏夫氏が昇任。消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 7 1 名となる。 4 月 9 日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、1 6 時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙 2 5 7 番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め 4 月 1 2 日 9 時、4 7 h a を焼失し、鎮火する。 出動人員（延） 小豆地区消防本部 196 名 土 庄 町 消 防 団 1, 172 名 池 田 町 消 防 団 300 名 内 海 町 消 防 団 350 名 高 松 市 消 防 局 9 名 香川県防災航空隊 21 名 大阪市消防局航空隊 5 名 広島市消防航空隊 6 名 島根県防災航空隊 16 名 京都市消防航空隊 6 名 陸 上 自 衛 隊 161 名 合 計 2, 242 名 出動車両等（延） 消 防 ポ ン プ 自 動 車 49 台 小型動力ポンプ付積載車 109 台 自 衛 隊 車 両 33 台 そ の 他 の 車 両 73 台 消 防 防 災 ヘ リ 7 機 自 衛 隊 ヘ リ 9 機
平成 9 年 3 月	第十代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 日本消防協会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。

4 月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。			
5 月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。 第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。			
10 月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。			
平成 10 年 10 月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。			
平成 11 年 2 月	携帯電話等からの 1 1 9 番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話 1 1 9 番転送システムを設置する。 2 月 1 4 日、土庄町湊崎字東丸山甲 1 6 6 5 番地 3 より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し 3 日間燃え続け、消防職員・3 町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、1 3 h a を焼失し、1 6 日 8 時 4 0 分鎮火する。			
	出動人員（延）		出動車両（延）	
	小豆地区消防本部	145 名	消防ポンプ自動車	35 台
	土庄町消防団	717 名	小型動力ポンプ付積載車	87 台
	池田町消防団	110 名	自衛隊車両	6 台
	内海町消防団	100 名	その他の車両	25 台
	香川県防災航空隊	9 名	消防防災ヘリ	8 機
	高知県消防防災航空隊	16 名	自衛隊ヘリ	8 機
	愛媛県消防防災航空隊	13 名		
	兵庫県消防防災航空隊	14 名		
	広島県防災航空隊	6 名		
	鳥取県消防防災航空隊	7 名		
	陸上自衛隊	121 名		
	土庄警察署	55 名		
	土庄町職員	24 名		
	合 計	1,337 名		
3 月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。			
4 月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。			
平成 12 年 3 月	消防本部 2 階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。			
10 月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。			
平成 13 年 3 月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。 消防職員 1 名退職。職員総数 7 0 名となる。			
平成 13 年 4 月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。 消防職員 1 名採用。職員総数 7 1 名となる。			
平成 14 年 1 月	消防職員 1 名退職。職員総数 7 0 名となる。			

3 月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数 6 9 名となる。																								
4 月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。																								
平成 15 年 3 月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数 7 0 名となる。 日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け内海分署へ配置する。																								
4 月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。 第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。 消防職員 3 名採用、職員総数 7 3 名となる。																								
10 月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数 7 2 名となる。																								
12 月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。 第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。																								
平成 16 年 3 月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数 7 1 名となる。 救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。																								
4 月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。 第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。																								
8 月	台風 1 6 号による高潮被害。 <table><tr><td>内海町</td><td>床上浸水</td><td>176 戸</td><td>床下浸水</td><td>350 戸</td></tr><tr><td>土庄町</td><td>床上浸水</td><td>523 戸</td><td>床下浸水</td><td>523 戸</td></tr><tr><td>池田町</td><td>床上浸水</td><td>49 戸</td><td>床下浸水</td><td>160 戸</td></tr><tr><td>合 計</td><td>床上浸水</td><td>748 戸</td><td>床下浸水</td><td>1,033 戸</td></tr></table>					内海町	床上浸水	176 戸	床下浸水	350 戸	土庄町	床上浸水	523 戸	床下浸水	523 戸	池田町	床上浸水	49 戸	床下浸水	160 戸	合 計	床上浸水	748 戸	床下浸水	1,033 戸
内海町	床上浸水	176 戸	床下浸水	350 戸																					
土庄町	床上浸水	523 戸	床下浸水	523 戸																					
池田町	床上浸水	49 戸	床下浸水	160 戸																					
合 計	床上浸水	748 戸	床下浸水	1,033 戸																					
平成 17 年 3 月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。 第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。 消防職員 1 名退職、職員総数 7 0 名となる。 消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、内海分署へ配置する。																								
4 月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。 第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。 第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。 消防職員 1 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。																								
平成 18 年 1 月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。																								
3 月	内海町、池田町（2 町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員 5 名退職（勸奨）職員総数 6 6 名となる。 消防ポンプ自動車（三菱 C D - I）を購入し、池田分署へ配置する。																								
4 月	消防職員 5 名採用、職員総数 7 1 名となる。																								
8 月	消防職員 1 名退職、職員総数 7 0 名となる。																								

平成 19 年 3 月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 9 名となる。
4 月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員 3 名退職（内 3 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。 消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。 第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 21 年 3 月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。 消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏 他消防職員 4 名退職（内 3 名勸奨）職員総数 6 2 名となる。
平成 21 年 4 月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。 消防次長に通信司令室長であった今口眞吾氏昇任。 第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。 消防職員 7 名採用、職員総数 6 9 名となる。

5. 主たる総務行事（平成20年）

1月28日	消防広域化推進検討委員会(第3回)	(高松市)
3月7日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	
3月28日	消防広域化推進検討委員会(第4回)	(高松市)
4月8日	消防職員第55期初任教育入校式	(高松市)
11日	第1回県下消防長会議	(丸亀市)
20日	小豆郡消防連合会総会・表彰式	
24日	全国消防長会四国支部総会	(高松市)
25日	香川県消防協会第1回理事会・代議員会	(高松市)
5月30日	香川県消防協会消防功労者定例表彰式	(高松市)
6月5日	全国消防長会第60回総会	(東京都)
8月20日	教育担当課長会	(高松市)
27日	香川県消防協会第2回理事会	(高松市)
9月9日	消防職員委員会	
30日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	
30日	消防職員第55期初任教育卒業式	(高松市)
10月2日	県下庶務事務担当者会	(観音寺市)
7日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(高知市)
9日	消防学校教育推進協議会	(高松市)
17日	県下署長会議	(仲多度郡)
23日	香川県消防長会議及び消防職員意見発表会	(善通寺町)
11月6日	全国消防長会四国支部総務関係実務研修会	(高松市)
9日	消防学校教育推進協議会	(高松市)
13日	警察消防殉職者合同慰霊祭	(高松市)
17日	香川県消防広域化推進計画検討委員会組織部会・第2回	(高松市)
27日	小豆地区健康危機管理連絡会議	
12月24日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	

6. 歴代消防長

平成 21 年 4 月 1 日現在

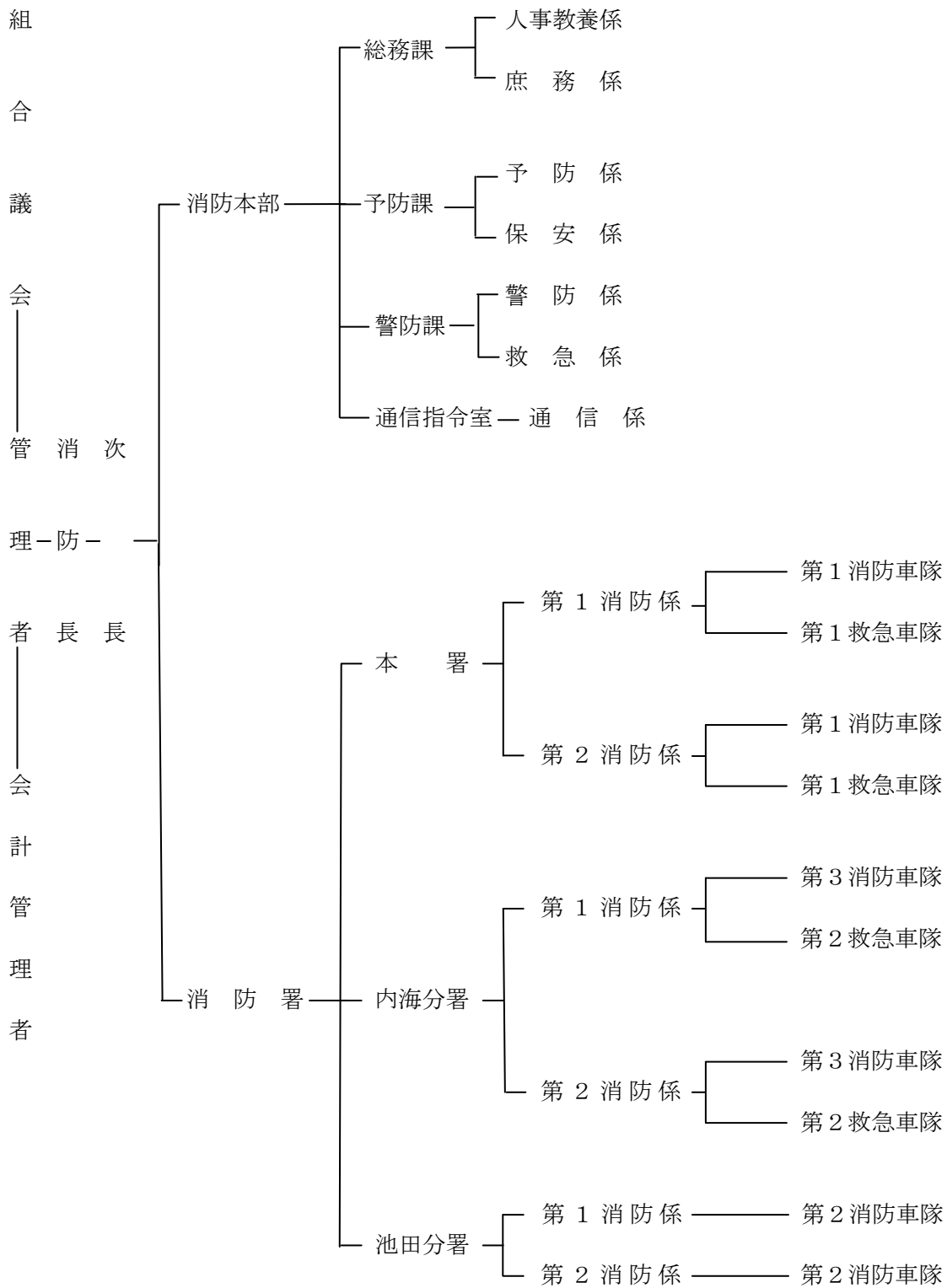
年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 5 0 . 4 . 1	3 年	0 月
二 代	坂 本 傳	自 昭 5 0 . 6 . 1 至 昭 5 2 . 5 . 3 1	2 年	0 月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自 昭 5 2 . 6 . 1 至 昭 5 3 . 3 . 3 1		1 0 月
四 代	洲 本 勝	自 昭 5 5 . 4 . 1 至 昭 5 9 . 3 . 3 1	4 年	0 月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 9 . 4 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	2 年	0 月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壮 一 郎	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 昭 6 3 . 3 . 3 1	2 年	0 月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭 6 3 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	5 年	0 月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5 . 4 . 1 至 平 7 . 6 . 6	2 年	2 月
九 代	前 田 忠	自 平 7 . 7 . 1 至 平 1 5 . 3 . 3 1	7 年	9 月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平 1 5 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	2 年	0 月
十 一 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 二 代	浜 岡 成 俊	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 三 代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平 2 1 . 4 . 1 至 現 在		

7. 歴代消防署長

平成 21 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 4 9 . 3 . 3 1	2 年	0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9 . 4 . 1 至 昭 5 6 . 4 . 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6 . 5 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5 . 4 . 1 至 平 8 . 3 . 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8 . 4 . 1 至 平 1 4 . 3 . 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4 . 4 . 1 至 平 1 5 . 1 1 . 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5 . 1 2 . 1 至 平 1 6 . 3 . 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 代	中 川 博 行	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平 2 1 . 4 . 1 至 現 在		

8. 消防の組織・機構



9. 事 務 分 掌

総 務 課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶 務 係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課の所管に属さない事項

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保 安 係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

警 防 課

警 防 係

- (1) 消防計画に関する事項
- (2) 警防対策に関する事項
- (3) 警防演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 火災予防条例第45条の届出の受理に関する事項
- (6) 各町の地域防災計画に関する事項
- (7) 消防団に関する事項
- (8) 消防水利に関する事項
- (9) 災害報告に関する事項
- (10) 前各号のほか、警防業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

通 信 指 令 室

通 信 係

- (1) 消防通信に関する事項
- (2) 前各号のほか、通信事務に関する事項

10. 管内面積及び人口、世帯数

平成21年4月1日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.39	7,606	8,644	16,250	6,984
小 豆 島 町	95.63	7,999	9,004	17,003	7,202
合 計	170.02	15,605	17,648	33,253	14,186

(住民基本台帳による)

1 1. 消防庁舎の現状

区 分 署所別	所 在 地	構 造	建築延面積	竣工年月日
本部・署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 4	鉄筋コンクリート 3 階 建	979.720 m ²	S. 47. 12. 30
内海分署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 2 階 建	392.135 m ²	S. 48. 4. 30
池田分署	香川県小豆郡小豆島町池田 2099 番地 4	鉄筋コンクリート 2 階 建	288.175 m ²	S. 47. 12. 30

1 2. 職員の勤務年数

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 別 年 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1 年 未 満							7	7
1 年～ 2 年未満							3	3
2 年～ 3 年未満							2	2
3 年～ 4 年未満							5	5
4 年～ 5 年未満							1	1
5 年～ 1 0 年未満						4	1	5
1 0 年～ 1 5 年未満						2		2
1 5 年～ 2 0 年未満					11			11
2 0 年～ 2 5 年未満				2	3			5
2 5 年～ 3 0 年未満				6				6
3 0 年 以 上		2	5	15				22
合 計		2	5	23	14	6	19	69
平 均		36.5	37.0	31.9	18.0	8.7	1.7	18.7

13. 職員の年齢

平成21年4月1日現在

階級別 年数	消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	計
18才～20才							4	4
21才～25才							13	13
26才～30才						4	2	6
31才～35才					3	2		5
36才～40才					9			9
41才～45才				5	2			7
46才～50才				5				5
51才～55才				9				9
56才～60才		2	5	4				11
合 計		2	5	23	14	6	19	69
平 均 年 齢		57.0	57.0	53.1	37.3	29.5	22.8	39.0

14. 職員の配置状況

平成21年4月1日現在

階級別 署所別	消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	計
消防本部		2	3	13	5	4	10	38
消防署		(1)		(13)	(6)	(4)	(3)	(27)
内海分署			1	6	5	2	5	19
池田分署			1	4	2		4	11
県防災航空隊					1			1
合 計		2	5	23	13	6	19	69

※（ ）内は兼務

1 5 . 消防力の現勢

平成 21 年 4 月 1 日現在

区 分		基 準 数	現 有 数	充 足 率
署 所 数		3	3	100.0
指 揮 隊 員		3	2	66.7
消 防 隊 員		60	38	63.3
救 急 隊 員		18	16	88.9
救 助 隊 員		15	16(兼務)	106.7
通 信、 望 楼 要 員		5	2	40.0
予 防 要 員		6	2	33.4
庶 務 処 理 等 の 要 員		10	10	100.0
消 防 ポ ン プ 自 動 車		5	4	80.0
は し ご 自 動 車		2	1	50.0
化 学 車		1	—	—
救助工作車 (省令第4条)		1	1	100.0
救 急 車		4	4	100.0
特 殊 車 等	指 揮 車	—	1	—
	林 野 火 災 工 作 車	—	—	—
	電 源 ・ 照 明 車	—	—	—
	排 煙 車	—	—	—
	査 察 広 報 車	—	1	—
	レッカー・クレーン車	—	—	—
	小型ポンプ付水槽車	—	1	—
そ の 他 の 車 両		—	3	—
消 防 水 利		591	347	58.7

1 6 . 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成 21 年 4 月 1 日現在

区 分	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k m ²)
種 別			
消 防 職 員 1 人 当 り	482	206	2.46
消防ポンプ自動車1台当り	8,313	3,547	42.51
救 急 車 1 台 当 り	8,313	3,547	42.51
署 1 ケ 所 当 り	11,084	4,729	56.67

17. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成20年度予算額	平成21年度予算額
1. 分担金及び負担金	623,629	630,807
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金		
4. 県支出金		
5. 財産収入		
6. 寄付金		
7. 繰越金		
8. 諸収入		
9. 組合債		
合計	623,729	630,907

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成20年度予算額	平成21年度予算額
1. 総務費	592,369	568,292
2. 予防費	1,173	1,113
3. 警防費	9,701	11,396
4. 救急費	4,919	4,740
5. 水防費	247	233
6. 施設費	4,835	33,600
7. 公債費	10,485	11,533
合計	623,729	630,907

18. 平成21年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土庄町	小豆島町	合計
一般会計予算額	6,275,000	7,270,000	13,545,000
消防予算額			
計	316,741	380,318	697,059
常備消防費	285,440	345,367	630,807
非常備消防費	29,137	32,558	6,1695
消防施設費	1,553	900	2,453
水防費	611	1,490	2,101
災害対策費	0	3	3
一般会計と消防費の比(%)	5.05	5.23	5.95
住民1人当りの消防費用(円)	19,492	22,368	20,962
一世帯当たりの消防費用(円)	45,411	53,589	49,535

19. 消防費基準財政需要額及び町負担金(決算額)

(単位：千円)

町別	平成20年度 消防費基準財政需要額	平成20年度 町負担金
土庄町	238,670	275,309
小豆島町	288,723	333,019
合計	527,393	608,328

20. 職員特殊技能資格取得状況

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 別 種 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車 運転 免許	大 型 1 種			2	10	8	3	10	33
	大 型 2 種				1				1
	普 通 1 種		2	3	22	14	6	19	66
	自 動 2 輪		1	5	9	3	1	2	21
	大 型 け ん 引								
消 防 用 設 備 点 検 資 格 者 第 1 種 ・ 第 2 種				3					3
消 防 設 備 士 許					1	2			3
危 険 物 取 扱 者 許					2	3		7	12
特 殊 無 線 技 術 士 乙			1	3	4				8
第 二 級 陸 上 特 殊 士				1	9	10	1	2	23
第 三 級 陸 上 特 殊 士				1	5	1			7
電 話 級 ア マ チ ュ ア 士					1				1
小 型 船 舶 操 縦 士 許				3	12	8	1		24
応 急 導 手 当 員			1	3	11	8	3	1	27
救 急 資 格 I 課 程 1 3 5 時 間			1	5	18				24
救 急 資 格 II 課 程 1 1 5 時 間			1	2	16				19
救 急 資 格 標 準 課 程					6	12	3	3	24
救 急 救 命 士				1	5	4			10
石 油 機 器 技 術 管 理 士					1	2			3
第 II 種 酸 素 欠 乏 者					2	6			8
潜 水 士						2	1		3
特 定 化 学 物 質 等 者					1	2			3

2 1. 職員諸手当調

平成 21 年 4 月 1 日現在

区 分	単位	金 額	備 考
管 理 職 手 当	月	34,000 円 24,000 円 20,000 円 15,000 円	消 防 長 消 防 司 令 長 消 防 司 令 消防司令補の課長補佐及び副主幹（日勤者）
時間外勤務手当	時間	$\frac{\text{本俸} \times 12 \times 1.25}{(40 \times 52)} - (18 \times 8)$	時間外勤務を命ぜられた職員
夜間勤務手当	〃	$\frac{\text{本俸} \times 12 \times 0.25}{(40 \times 52)} - (18 \times 8)$	深夜勤務を命ぜられた職員
夜間特殊業務手当	〃	5 時 間 以 上 780 円 2 時 間 以 上 5 時 間 未 満 650 円 2 時 間 未 満 410 円 1 時 間 未 満 200 円	同 上
出動手当	火 災	1 回	400 円
	救 急	〃	220 円
	救助	〃	400 円
火災原因調査手当	〃		300 円
救急救命士手当	月		3,000 円

2 2. 職員教養状況調

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
区 分									
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科								
	幹 部 研 修 科								
	警 防 科								
	予 防 科								
	救 急 科								
	救 助 科					1			1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 科		2	3	23	14	6	19	67
	初 級 幹 部 科					1			1
	中 級 幹 部 科		2	4	5				11
	上 級 幹 部 科		1	1					2
	予 防 査 察 科		1		13	3	1		18
	危 険 物 科					1			1
	火 災 調 査 科			1	5	4	2		12
	警 防 科		1	3	4	5	1		14
	救 急 科				5	11	4	2	22
	救 助 科				1	7	2		10
そ の 他	救 急 救 命 士			1	4	4	1		10

2 3. 職員の居住地調

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 別 区 分	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
土 庄 町			2	11	6	3	14	36
小 豆 島 町		2	3	12	8	3	5	33
合 計		2	5	23	14	6	19	69

2 4. 職員任用退職状況調

平成 21 年 4 月 1 日現在

年 度 区 分	新 任	退 職	転 入	出 出	職 員 総 数
昭 和 5 6 年	1				68
昭 和 5 7 年	2	1			69
昭 和 5 8 年		1			68
昭 和 5 9 年	1	1		1	67
昭 和 6 0 年					67
昭 和 6 1 年	1	1	1		68
昭 和 6 2 年					68
昭 和 6 3 年	1				69
平 成 元 年	3	2			70
平 成 2 年	2	2		1	69
平 成 3 年	3	2		1	69
平 成 4 年	2	1			70
平 成 5 年	2	2		1	69
平 成 6 年	2				71
平 成 7 年					71
平 成 8 年	2	1	1	2	71
平 成 9 年					71
平 成 1 0 年					71
平 成 1 1 年					71
平 成 1 2 年					71
平 成 1 3 年	1	1			71
平 成 1 4 年	2	2			71
平 成 1 5 年	3	1			73
平 成 1 6 年		2			71
平 成 1 7 年	1	1			71
平 成 1 8 年	5	5			71
平 成 1 9 年	2	2			71
平 成 2 0 年	3	5			69
平 成 2 1 年	7	7			69

25. 職員の推移

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 別 年 度 別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
昭 和 5 6 年	1	1	2	8	11	38	7	68
昭 和 5 7 年	1	1	1	8	11	38	9	69
昭 和 5 8 年	1	1	4	5	10	42	5	68
昭 和 5 9 年	1		5	7	14	34	6	67
昭 和 6 0 年	1		5	7	18	32	4	67
昭 和 6 1 年		2	4	7	26	25	4	68
昭 和 6 2 年		2	4	7	33	18	4	68
昭 和 6 3 年	1	1	4	7	33	20	3	69
平 成 元 年	1	1	4	7	38	13	6	70
平 成 2 年	1	1	5	7	36	11	8	69
平 成 3 年	1	2	4	10	31	12	9	69
平 成 4 年	1	2	4	14	28	10	11	70
平 成 5 年	1	2	3	18	26	9	10	69
平 成 6 年	1	2	3	18	26	9	12	71
平 成 7 年	1	2	4	19	26	8	11	71
平 成 8 年	1	4	3	17	25	11	10	71
平 成 9 年	1	4	3	22	22	11	8	71
平 成 1 0 年	1	4	3	27	18	13	5	71
平 成 1 1 年	1	4	3	28	19	12	4	71
平 成 1 2 年	1	5	4	30	16	12	3	71
平 成 1 3 年	1	4	4	32	15	12	3	71
平 成 1 4 年	1	3	5	32	15	11	4	71
平 成 1 5 年		3	9	29	15	12	5	73
平 成 1 6 年		2	9	29	17	9	5	71
平 成 1 7 年	1	2	8	30	16	8	6	71
平 成 1 8 年	1	5	3	29	17	5	11	71
平 成 1 9 年	1	5	6	27	15	6	11	71
平 成 2 0 年	1	3	7	25	14	7	12	69
平 成 2 1 年		2	5	23	14	6	19	69

予 防

1. 主たる予防行事（平成20年）

- 1月19日 重要文化財の予防査察
～30日
- 3月1日 春季全国火災予防運動
～7日
- 5日 香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査
- 5月21日 平成20年度小豆島防火協会役員会
- 6月8日 危険物安全週間
～14日
- 12日 平成20年度香川県危険物安全大会
- 17日 平成20年度小豆島防火協会定時総会
- 18日 平成20年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
- 〃 平成20年度小豆地区少年婦人防火委員会
- 20日 平成20年度小豆島危険物安全協会総会
- 6月～9月 防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
- 8月8日 危険物取扱者保安講習
- 9月2日 香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査
- 26日 平成20年度県下予防事務担当者会議 (津田)
- 11月9日 秋季全国火災予防運動
～15日
- 10月22日 移動タンク貯蔵所立入検査
- 11月17日 〃

2. 「防火優良認定」交付対象物状況

平成21年4月1日現在

区 分 用 途	定期点検報告制度 対 象 物 数	防 火 優 良 認 定 交 付 対 象 物 数	交付率 (%)
旅館・ホテル等	36	21	58

3. 自主防災組織の現況

- 小豆島防火安全協会（平成21年4月1日設立 会員数333事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火クラブ
- 小豆島防火安全協会（平成21年4月1日設立 会員数333事業所）

少年消防クラブ（５クラブ １４９名）

平成 21 年 5 月 1 日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
安 田 少年消防クラブ	昭和 2 6 年 1 2 月 8 日	6 7 名	地 区	小豆島町
坂 手 "	昭和 2 8 年 5 月 5 日	1 6 名	"	"
鹿 島 "	昭和 5 4 年 1 2 月 3 日	2 8 名	"	土 庄 町
橘 "	昭和 5 5 年 5 月 3 0 日	1 9 名	"	小豆島町
大木戸 "	昭和 5 7 年 4 月 1 日	1 9 名	"	土 庄 町

婦人防火クラブ（１６クラブ １,４９９名）

平成 21 年 6 月 1 日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗 羽 婦人防火クラブ	昭和 2 0 年 1 0 月 1 0 日	1 3 6 名	地 区	小豆島町
坂 手 "	昭和 2 2 年 4 月 1 日	1 3 0 名	"	"
草 壁 "	昭和 2 3 年 4 月 1 日	1 2 8 名	"	"
福 田 "	昭和 2 4 年 4 月 1 日	1 0 4 名	"	"
安 田 "	昭和 2 4 年 7 月 1 1 日	5 3 名	"	"
西 村 "	平成 1 3 年 4 月 1 日	9 0 名	"	"
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和 5 4 年 1 2 月 3 日	兼 務	"	土 庄 町
" 土庄支部	昭和 2 6 年 1 月 1 日	1 3 3 名	"	"
" 湊崎支部	"	1 8 7 名	"	"
" 大鐸支部	"	2 0 名	"	"
" 北浦支部	"	1 2 1 名	"	"
" 四海支部	"	8 6 名	"	"
" 豊島支部	"	4 1 名	"	"
池 田 婦人防火クラブ	昭和 3 7 年 1 月 7 日	2 3 5 名	"	小豆島町
鹿 島 婦人消防クラブ	昭和 5 4 年 1 2 月 3 日	1 0 名	"	土 庄 町
馬 越 "	昭和 5 6 年 8 月 1 日	2 5 名	"	"

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

平成21年4月1日現在（単位：棟）

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	31	31	29	29	60	60
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	3	3			3	3
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2			2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等			1	1	1	1
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店	1		1	1	2	1
	ロ	飲 食 店	21	17	9	8	30	25
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	34	20	32	22	66	42
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	84	45	51	35	135	80
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	74	4	85	11	159	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	9	2	9	4	18	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	20	15	16	10	36	25
	ハ	老人デイサービスセンター等						
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	3	3	6	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	24	8	26	9	50	17
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	1	8	6	9	7
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	3	2	6		9	2
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	21	3	18	5	39	8
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	142	4	186	17	328	21
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		9		25	
(14)		倉 庫	48		80		128	
(15)		前各項に該当しない事業場	43	13	52	18	95	31
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	65	39	51	38	116	77
	ロ	イ以外の複合用途対象物	10	2	9	1	19	3
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			657	214	684	218	1,341	432

5. 防火管理者選任届状況

平成 21 年 4 月 1 日現在（単位：棟）

項目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	10	18	28
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	2		2
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		1	1
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	8	8	16
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	12	16	28
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	38	34	72
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等		3	3
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2	4	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	15	10	25
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等			
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	6
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	8	7	15
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	5	6
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	1		1
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	2	6	8
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3	13	16
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	5	15	20
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	20	30	50
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物		1	1
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			130	174	304

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

(面積：㎡)

工事別	町 別	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
		件 数	延面積	件 数	延面積	件 数	延面積
新	築	12	1,952. ²⁶	8	3,739. ⁰¹	20	5,691. ²⁷
増	築	3	282. ⁹¹	1	1,630. ⁰²	4	1,912. ⁹³
改	築						
用 途 変 更		2	451. ⁷⁶			2	451. ⁷⁶
移	転						
増 改 築							
大 規 模 な 修 繕							
大 規 模 な 模 様 替 え							
そ の 他		2	7,848. ⁴⁹	2	7,259. ¹⁶	4	15,107. ⁶⁵
合	計	19	10,535. ⁴²	11	12,628. ¹⁹	30	23,163. ⁶¹

(2) 月別・工事別状況

(面積：㎡)

工 事 別		新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他	合 計
区 分							
4 月	件 数	2					2
	延 面 積	153. ⁰⁹					153. ⁰⁹
5 月	件 数						
	延 面 積						
6 月	件 数	3	1				4
	延 面 積	1,762. ⁹²	41. ²⁵				1,804. ¹⁷
7 月	件 数		2		1		3
	延 面 積		1,654. ⁸⁴		185. ⁸⁰		1,840. ⁶⁴
8 月	件 数	3			1		4
	延 面 積	487. ⁸⁸			265. ⁹⁶		753. ⁸⁴
9 月	件 数	1				1	2
	延 面 積	54. ⁰⁰				97. ⁶⁰	151. ⁶⁰
10 月	件 数					1	1
	延 面 積					1,854. ⁶⁶	1,854. ⁶⁶
11 月	件 数	1					1
	延 面 積	218. ⁹⁹					218. ⁹⁹
12 月	件 数	2					2
	延 面 積	145. ⁰³					145. ⁰³
1 月	件 数	2	1				3
	延 面 積	1,279. ²⁷	216. ⁸⁴				1,496. ¹¹
2 月	件 数	2				1	3
	延 面 積	723. ⁴⁶				5,993. ⁸³	6,717. ²⁹
3 月	件 数	4				1	5
	延 面 積	866. ⁶³				7,161. ⁵⁶	8,028. ¹⁹
合計	件 数	20	4		2	4	30
	延 面 積	5,691. ²⁷	1,912. ⁹³		451. ⁷⁶	15,107. ⁶⁵	23,163. ⁶¹

(3) 用途別状況

(面積：㎡)

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	2	565. ⁵⁹			2	565. ⁵⁹
(2)	イ	キャバレー・カフェー等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	1	130. ⁸³			1	130. ⁸³
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	41. ²⁵	1	284. ²⁰	2	325. ⁴⁵
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	22. ²⁶			1	22. ²⁶
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	7	1,354. ⁵¹			7	1,354. ⁵¹
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等						
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等						
	ハ	老人デイサービスセンター等						
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校	2	7,848. ⁴⁹	2	8,791. ⁵⁸	4	16,640. ⁰⁷
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等						
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等						
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会						
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	1	216. ⁸⁴	4	3,082. ⁹⁴	5	3,299. ⁷⁸
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			2	196. ⁴⁸	2	196. ⁴⁸
(14)		倉 庫			1	54. ⁰⁰	1	54. ⁰⁰
(15)		前各項に該当しない事業場	2	37. ³⁷			2	37. ³⁷
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	1	185. ⁸⁰			1	185. ⁸⁰
	ロ	イ以外の複合用途対象物						
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等						
そ の 他								
住 宅			1	132. ⁴⁸	1	218. ⁹⁹	2	351. ⁴⁷
合 計			19	10,535. ⁴²	11	12,628. ¹⁹	30	23,163. ⁶¹

7. 危険物施設の現況

町 別 種 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	11	13
	屋 外 貯 蔵 所	2	2	4
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	21	26	47
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26	18	44
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	3
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	24	19	43
	小 計	78	78	156
取 扱 所	給 油 取 扱 所	22	20	42
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所	-	-	-
	一 般 取 扱 所	20	12	32
	小 計	45	33	78
合 計		123	111	234

8. 危険物施設の許認可状況

区 分 種 別		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 設 置 検 査)	(完 成 変 更 検 査)	承 仮 使 認 用	仮 取 扱 貯 蔵 承 認 び	選 保 安 任 監 督 者 届 者	解 保 安 任 監 督 者 届 者	廃 止 届	合 計
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所							1	1		2
	屋 外 貯 蔵 所										
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		3			2		7	7	2	21
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所							6	3	1	10
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所							1	1		2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		1								1
	小 計		4			2		15	12	3	36
取 扱 所	給 油 取 扱 所		1			1	20	3	1	4	30
	第 1 種 販 売 取 扱 所										
	第 2 種 販 売 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所	1	3			3		2	2	2	13
	小 計	1	4			4	20	5	3	6	43
合 計		1	8			6	20	20	15	9	79

9. 各種届出事務処理状況

種 別 \ 町 別	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届	11	9	20
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	25	19	44
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告	106	80	186
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	4	3	7
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	15	19	34
消 防 計 画 書 作 成 (変 更) 届	26	38	64
消 火 ・ 避 難 訓 練 実 施 届	74	43	117
り 災 証 明	4	3	7
ボ イ ラ ー 設 置 届		8	8
乾 燥 設 備 設 置 届		1	1
発 電 変 電 蓄 電 池 設 備 設 置 届	3	14	17
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届			
水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届			
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為 の 届	7	37	44
煙 火 打 ち 上 げ ・ 仕 掛 届	6	11	17
催 物 開 催 届	1	3	4
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届		11	11
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 貯 蔵 取 扱 届			
液 化 ガ ス 貯 蔵 取 扱 届		3	3
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	1	1	2
旅 館 等 適 合 通 知 書 交 付 申 請			
合 計	283	303	586

10. 広報・広聴実施状況

町 別 \ 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
対 象	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
学 校									
幼 稚 園 等	6	242	12	8	410	20	14	652	32
旅 館	22	48	44	11	37	26	33	85	70
工 場 ・ 作 業 場	1	170	2				1	170	2
婦 人 会				1	20	1	1	20	1
老 人 会									
そ の 他	10	345	20	12	111	29	22	456	49
合 計	39	805	78	32	578	76	71	1,383	154

1 1. 中高層建築物(4階以上)の現況表

項 目			町 別		土 庄 町								小 豆 島 町								合 計							
			階 別		四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	小 計	四 階	五 階	六 階	八 階	十 階	十 三 階	小 計	四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	十 三 階	合 計		
対 象 物																												
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等																										
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	1							1								1							1			
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	1							1								1							1			
	ロ	遊技場又はダンスホール																										
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																										
	ニ	カラオケボックス等																										
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店																										
	ロ	飲 食 店																										
(4)		百貨店・マーケット・店舗等																										
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7	3	1		2	1	14	1						1	2	8	3	1		2	1	1	16			
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	9	5	1				15	13	17	1					31	22	22	2					46			
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等		1					1		1	2					3		2	2					4			
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	1	1					2	3							3	4	1						5			
	ハ	老人デイサービスセンター等																										
	ニ	幼稚園・養護学校等																										
(7)		小・中・高・大学各種学校	1						1	1							1	2							2			
(10)		停 車 場 等																										
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		1					1										1						1			
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	1						1	1	1						2	2	1						3			
	ロ	映画・テレビスタジオ																										
(14)		倉 庫																										
(15)		前各項に該当しない事業場	2						2	3							3	5							5			
(16)	イ	複合・特定防火対象物	7			2			9		2			1		3	7	2		2		1			12			
	ロ	イ以外の複合用途対象物	5						5		1			1		2	5	1				1			7			
(17)		重要文化財建造物等																										
合 計			35	11	2	2	2	1	53	22	22	3		2	1	50	57	33	5	2	2	3	1		103			

防 警



警 防 係

近年、社会情勢の進展に伴い各種災害は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあり、住民の消防に寄せる期待はますます高まっています。

これらの災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、資器材の整備による警防体制の充実強化、教養訓練の実施による職員の資質向上に努めています。

また、職員の高齢化に対応するため、消防車両をはじめとする各種資器材、装備品の軽量少力化を図っています。

救 急 係

救急業務の応急処置範囲拡大に伴い、高度救急資器材の整備充実を図り、救急隊員の資質の向上に努めるとともに、応急手当の普及啓発活動を積極的に推進し、地域住民、救急隊、医療機関との連携強化を図り、傷病者の救命率向上と救急体制の万全を期するように努めています。

また、平成9年11月から管内の病院の協力を得て、救急救命士による特定行為の高度救急救命処置を実施するなど、住民の信頼に応えるために鋭意努力しています。

1. 主たる警防行事（平成20年）

1月 6日	土庄町消防出初式	
1月 6日	小豆島町消防出初式	
7月24日	第37回消防救助技術四国地区指導会	(高松市)
9月 1日	香川県総合防災訓練	(高松市)
9月14日	平成20年度香川県消防操法大会	(香川県消防学校)
10月12日	第21回全国消防操法大会	(東京ビッグサイト)
10月30日	平成20年度中国四国ブロック	
～31日	緊急消防援助隊合同訓練	(松山市)
11月 5日	平成20年度県下警防事務担当者会議	(土庄町)
11月21日	平成20年度全国消防長会四国支部警防事務担当者会議	(高知県)

(救急)

1月21日	平成20年度香川県メディカルコントロール協議会委員会	(高松市)
2月 2日	香川外傷セミナー	(高松市)
～ 3日		
3月 5日	香川県メディカルコントロール協議会症例発表会	(高松市)
3月18日	香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
3月31日	香川県メディカルコントロール協議会事後検証会	(高松市)
5月28日	香川県プロトコール2008事前説明会	(高松市)
7月 7日	香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
9月12日	小豆郡医師会救急医学講演会	(土庄町)
9月29日	香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
10月 3日	香川県救急事務担当者会	(多度津町)
12月18日	平成20年度中国四国ブロック小児救急研修会	(善通寺市)
～19日		

6月10日	(四海小学校)	} いのちの先生
9月19日	(湊崎小学校)	
9月21日	(池田小学校)	
11月 5日	(福田小学校)	
11月 6日	(北浦小学校)	

2. 消防車両等配置状況

平成 21 年 4 月 1 日現在

	名 称	種 別	車 名	購 入 年 月 日	備 考
本 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成 2 年 1 2 月 2 1 日	
	ポ ン プ 1 号 車	水槽付消防ポンプ車	三 菱	平成 1 0 年 1 0 月 1 5 日	水槽 1, 7 0 0 ㍓
	ポ ン プ 2 号 車	水槽車小型動力ポンプB-3	三 菱	平成 5 年 1 2 月 7 日	水槽 2, 6 0 0 ㍓
	は し ご 車	はしご車 3 0 m級	日 野	平成 6 年 1 1 月 1 7 日	
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日 野	平成 1 6 年 3 月 1 9 日	
	防災工作車 1 号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	昭和 6 3 年 8 月 5 日	B-3 積載
	救 急 1 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成 2 0 年 1 月 2 3 日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成 9 年 1 0 月 2 3 日	
	査 察 広 報 車		日 産	昭和 6 2 年 6 月 4 日	
	防 火 広 報 車		ホンダ	平成 1 2 年 1 0 月 1 1 日	
内 海 分 署	ポ ン プ 5 号 車	消防ポンプ車CD-1	三 菱	平成 3 年 8 月 2 9 日	高圧ポンプ水槽 8 0 0 ㍓
	ポ ン プ 6 号 車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成 1 7 年 3 月 2 3 日	
	防災工作車 3 号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	平成 元年 9 月 1 2 日	B-3 積載
	高 規 格 救 急 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成 1 5 年 3 月 2 0 日	
	救 急 あ お ば	救急車 2-B	日 産	平成 9 年 3 月 1 8 日	
池 田 分 署	ポ ン プ 3 号 車	消防ポンプ車CD-1	三 菱	平成 1 8 年 3 月 2 7 日	水槽 7 0 0 ㍓
	防災工作車 2 号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	平成 元年 9 月 1 2 日	B-3 積載

3. 主な機械器具の配置状況

平成 21 年 4 月 1 日現在

器 具 別		署 所 別	本 署	内海分署	池田分署	合 計
放 水 器 具	消防用ホース 6 5 mm		85	80	82	247
	消防用ホース 5 0 mm		140	104	114	358
	高 圧ホース 2 5 mm		－	14	－	14
	小型動力ポンプ B－3 級		1	1	1	3
	小型動力ポンプ C－1 級		1	－	－	1
	手引ホースカー		2	2	1	5
	フログガン		3	2	2	7
	無反動ノズル		2	－	2	4
	放水銃		2	1	1	4
	集水器		6	3	3	12
	低発砲ノズル 8 0 0 0 型		2	1	－	3
	低発砲ノズル 4 0 0 0 型		2	1	－	3
	低発砲ノズル 2 0 0 0 型		－	1	1	2
	ユニット式プロポーションナー		2	1	－	3
	ラインプロポーションナー		2	1	1	4
	ピックアップ式泡ノズル		4	1	－	5
	ウォーターチャージャー		－	－	1	1
	背負式ポンプ		11	7	6	24
	簡易水槽		1	－	－	1
一般救助用器具	かぎ付はしご		2	1	－	3
	三連はしご		2	1	1	4
	救命索発射銃		2	1	1	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯		4	2	1	7
重量物排除用器具	油圧ジャッキ		1	1	1	3
	油圧スプレッダー		1	1	－	2
	可搬ウィンチ		2	1	1	4
	マット型空気ジャッキ		2	1	1	4
	大型油圧スプレッダー		1	1	－	2
切 断 用 器 具	エンジンカッター		2	1	1	4
	酸素溶断器		1	－	－	1
	チェンソー		2	1	2	5
	鉄線カッター		4	2	3	9
	大型油圧切断機		1	1	－	2
	空気切断機		1	2	1	4
破 壊 用 器 具	万能斧		2	2	－	4
	削岩機		1	－	－	1
	ハンマードリル		3	1	－	4
測 定 用 器 具	複合ガス検知器		1	1	－	2

呼吸保護用器具	空気呼吸器	12	8	7	27
	予備ボンベ	4	4	5	13
	空気補充用ボンベ	2	－	－	2
	防塵マスク	26	18	10	54
	送排風機	1	－	－	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	1	1	4
	耐電衣	3	－	－	3
	耐電ズボン	3	－	－	3
	耐電長靴	3	－	－	3
	耐電手袋	3	－	－	3
	防塵メガネ	26	18	10	54
水難救助用器具	救命胴衣	24	14	11	49
	救命浮環	6	2	2	10
	救命ボート	3	3	2	8
	船外機	1	－	－	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	1	1	4
その他の救助用器具	投光器	6	3	4	13
	携帯拡声器	8	1	2	11
	応急処置用セット	2	－	－	2
	緩降機	1	－	－	1
	発電機	5	2	1	8
その他の器具	オイルフェンス	2	－	－	2
	空気充填機	1	－	－	1
	モッコ	1	－	－	1
救急器具	気道確保用資機材一式	2	2	－	4
	自動体外式除細動器	2	2	1	5
	自動式心臓蘇生装置	1	1	－	2
	ショックパンツ	3	2	－	5
	輸液用資機材一式	1	1	－	2
	患者監視装置	2	2	－	4
	E O G 方式滅菌器	1	1	－	2
	殺菌消毒スタンド	1	1	－	2
	全脊柱固定具	2	2	－	4

４．消火薬剤の備蓄状況

平成 21 年 4 月 1 日現在

署 所 別 薬剤種別	署 所 別			
	本 署	内海分署	池田分署	合 計
化学消火薬剤 たん白系 3 % 型	880ℓ	760ℓ	800ℓ	2, 440ℓ

5. 消防水利の状況

平成 21 年 4 月 1 日現在

町 別			土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
種 別					
防 火 水 槽	4 0 m ³ 以 上	公 設	52	90	142
		私 設	-	-	-
	4 0 m ³ 未 満	公 設	6	4	10
		私 設	2	-	2
消 火 栓	1 0 0 mm 以 上	公 設	200	209	409
		私 設	-	-	-
	1 0 0 mm 未 満	公 設	427	343	770
		私 設	-	-	-
そ の 他	プー ル		6	9	15
	池		19	8	27
	海		24	26	50
	井 戸		10	3	13
合 計			746	692	1,438

6. 警防関係届出事務処理状況

平成 20 年 1 月 1 日～12 月 31 日

署 所 別		本署	内海分署	池田分署	合計
種 別	消防活動に支障をおよぼす 恐れのある道路占用届出	9	33	8	50

7. 災害別出動状況

平成 20 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種別 区分	火 災		救 助		風水害等 の 災 害		誤 報 等		そ の 他		合 計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
災害件数	15 件		9 件		0 件		3 件		15 件		42 件	
出動内訳	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本 署	11	66	8	59	0	0	3	15	10	59	32	199
内海分署	14	58	1	7	0	0	1	4	7	44	23	113
池田分署	11	41	4	14	0	0	1	4	3	10	19	69
合 計	36	165	13	80	0	0	5	23	20	113	74	381

8. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

平成20年1月1日～12月31日

月 日	対 象 団 体	対象人員	指導人員
3月10日	リゾートホテルオリビアン小豆島 従業員	10	2
5月13日	あすなろの家 職員	3	1
6月15日	サイクリング協会 会員	16	3
6月20日	小豆島老人ホーム 職員	5	1
6月26日	〃	5	1
6月27日	〃	6	1
6月30日	〃	6	1
7月 2日	リゾートホテルオリビアン小豆島 従業員	6	1
7月 4日	小豆島老人ホーム 職員	5	1
7月 8日	〃	5	1
7月10日	〃	4	1
7月11日	〃	5	1
7月14日	〃	6	1
7月16日	〃	5	1
7月18日	〃	6	1
7月30日	かどや製油(株) 従業員	5	1
7月31日	リベラル・サンシャイン 職員	11	2
9月13日	「救急週間」に伴う受講応募者	19	4
9月27日	ジュニアリーダー	23	5
12月11日	土庄高校 生徒(インターンシップ)	3	1
合 計		154	31

(2) 救急法講習会実施状況

平成20年1月1日～12月31日

月 日	対 象 団 体	対象人員	指導人員
2月15日	民生委員等の役員	21	6
3月 1日	小豆地区婦人防火クラブ	18	1
4月 1日	坂手婦人会	62	1
4月 5日	安田婦人会	64	1
4月11日	豊島老人会、豊島婦人会	30	3
4月22日	土庄町婦人会役員	55	5
6月 6日	土庄高校 生徒(家庭看護・福祉課程受講者)	23	4
6月 7日	上地自治会員	25	2
6月13日	淵崎幼稚園 保護者、教員	50	4
6月15日	淵崎小学校 保護者、教員	45	4
6月18日	北浦幼稚園 保護者、教員	20	1
6月25日	子育て支援センター 保護者、教員	31	4
6月28日	四海小学校 保護者、教員、児童	170	2
7月10日	町内スポーツクラブ指導者等	15	3
7月11日	土庄小学校 教員、保護者	45	4
7月17日	小豆島ふるさと村 職員、プール監視員	25	2
7月23日	〃	15	2
8月31日	鹿島自治会員	44	2
9月 8日	パチンコ・スターワールド 従業員	9	1
9月10日	土庄中学校 教員	28	2
9月12日	パチンコ・スターワールド 従業員	7	1

10月11日	安田小学校 教員	17	3
10月16日	内海中学校 教員	21	4
10月17日	小豆島保健所 職員	23	3
10月21日	星城小学校 教員	17	4
10月22日	苗羽小学校 教員	14	4
11月 9日	豊島小学校 自治会、婦人会、消防団員	25	2
11月12日	小豆島町商工会 運輸部会員、各部会の正副部長	14	4
11月17日	中川モータース 従業員	14	4
11月20日	小豆島高校 教員	35	4
11月21日	土庄町職員 タートルマラソン救護班	10	2
11月26日	池田小学校 教員	18	2
11月27日	池田中学校 教員	19	2
12月15日	土庄町社会福祉協議会 土庄分会	15	4
合 計		1,044	97

(3) 「いのちの先生」実施状況

平成20年1月1日～12月31日

月 日	対 象 団 体	対象人員	指導人員
6月10日	四海小学校 5年生、保健委員	30	1
9月19日	渚崎小学校 6年生、教員、保護者	65	1
9月21日	池田小学校 3・4年生、教員、保護者	88	1
11月 5日	福田小学校 児童、教員	50	1
11月 6日	北浦小学校 児童、教員	30	1
合 計		263	5

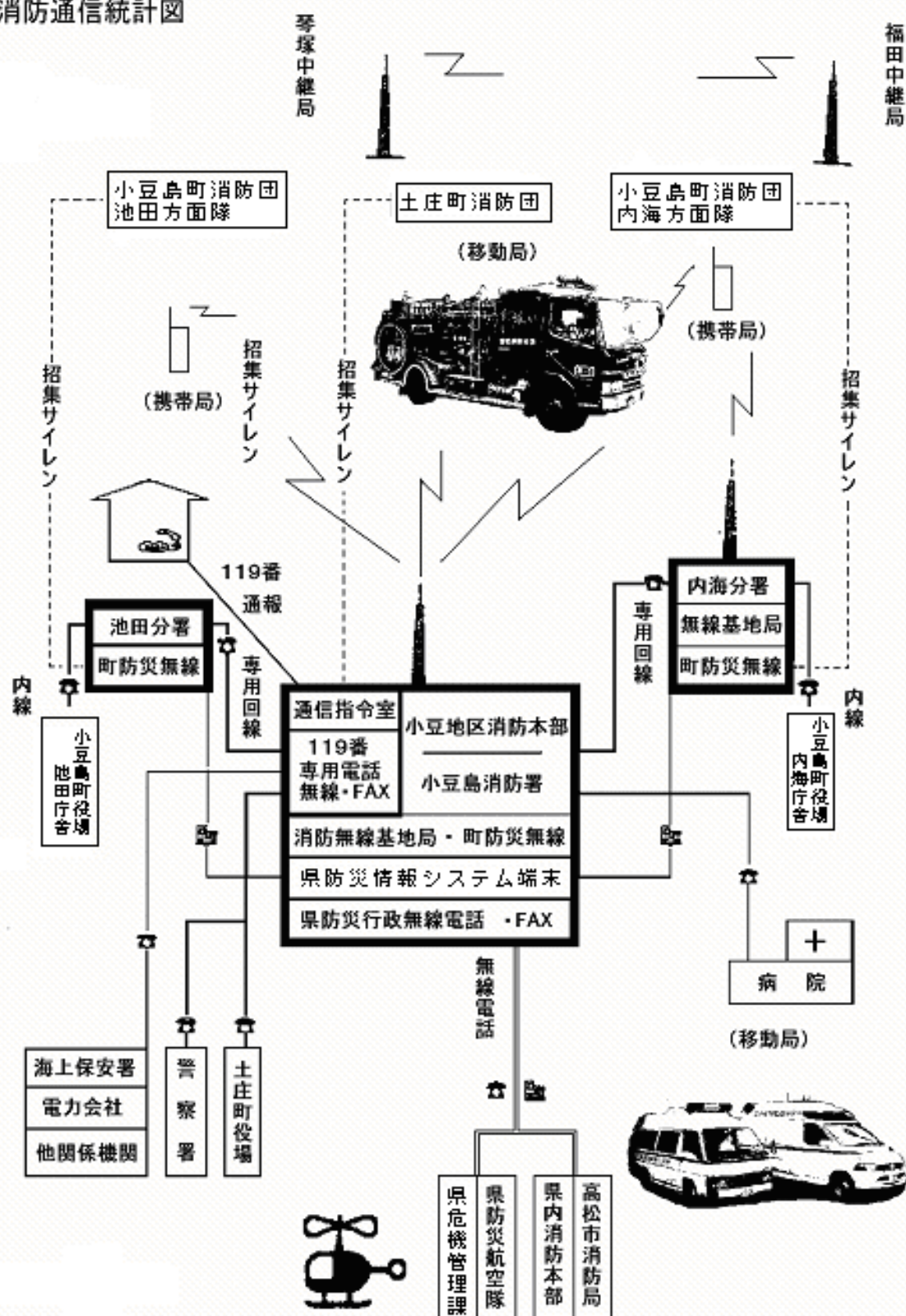
通信指令室

通 信 指 令 室

市街地等の都市構造の変化や、高齢化社会の進展に伴い、災害及び救急発生件数は年々増加し、災害態様は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあります。

通信に於いては、災害情報を迅速かつ正確に把握し、消防及び救急活動の初動体制を強化するため、平成12年4月より最新のコンピューター技術と通信技術を駆使した「消防緊急通信指令システム」を導入により情報収集処理技術の高度化が図られています。

1.消防通信統計図



2. 通信施設状況

小豆島消防署

平成 21 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	市 町 村 波	県 内 波	全 国 波 1	全 国 波 2	全 国 波 3	流 対 協 波	購 入 年 月 日
通 信 指 令 室	基地局	しょうずしょうぼう	10w		○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
〃	固定局	〃	5w	○						昭和 5 3 年 3 月 3 1 日
〃	基地局	〃	10w	○						昭和 5 9 年 3 月 3 1 日
琴塚いこいの家	〃	しょうずしょうぼうことづか	〃	○						昭和 5 3 年 3 月 3 1 日
〃	〃	〃	5w	○						〃
ポ ン プ 1 号 車	移動局	しょうずしょうぼう 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 0 年 3 月 1 1 日
タ ン ク 車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○		平成 6 年 1 月 7 日
救 助 工 作 車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 6 年 3 月 1 9 日
防災工作車 1 号車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○		平成 3 年 3 月 1 日
指 揮 車	〃	〃 5	〃	○	○	○	○	○		〃
防 火 広 報 車	〃	〃 7	〃	○						昭和 5 9 年 2 月 2 9 日
査 察 広 報 車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○		昭和 5 7 年 2 月 2 3 日
指 揮 車	〃	〃 1 0	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 3 年 1 月 6 日
は し ご 車	〃	〃 1 1	〃	○	○	○	○	○		平成 6 年 1 2 月 6 日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう 1	〃	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
高規格救急車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○		平成 9 年 1 2 月 3 日
	携帯局	しょうずしょうぼう 1 0 1	1w	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
	〃	〃 1 0 2	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 1 0 3	〃	○	○					平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 1 0 4	〃	○	○	○	○	○		平成 1 0 年 3 月 2 0 日
	〃	〃 1 0 5	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 1 0 6	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 1 0 7	〃	○	○	○	○			平成 1 6 年 9 月 6 日
	〃	〃 1 0 8	〃	○	○	○	○			昭和 5 2 年 3 月 2 9 日
	〃	〃 1 0 9	〃	○	○	○	○			昭和 5 4 年 3 月 2 8 日
	〃	〃 1 1 0	〃	○	○	○	○	○	○	平成 元年 2 月 1 0 日
	〃	〃 1 1 1	〃	○	○	○	○			昭和 6 3 年 1 月 6 日
	〃	〃 1 1 2	〃	○	○	○	○			昭和 5 7 年 2 月 2 3 日
	〃	〃 1 1 3	〃	○	○	○	○	○		平成 7 年 1 月 2 9 日
	〃	〃 1 1 4	〃	○	○	○	○	○		〃

内海分署

平成 21 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	市 町 村 波	県 内 波	全 国 波 1	全 国 波 2	全 国 波 3	流 対 協 波	購 入 年 月 日
通 信 室	基地局	しょうずしょうぼううちのみ	10w	○						昭和 6 1 年 3 月 1 2 日
福 田 消 防 屯 所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	5w	○						昭和 5 4 年 3 月 2 3 日
通 信 室	固定局	しょうずしょうぼううちのみ	〃	○						〃
福 田 消 防 屯 所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	〃	○						〃
ポンプ 6 号車	移動局	しょうずしょうぼう 5 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 7 年 3 月 2 5 日
ポンプ 5 号車	〃	〃 5 2	〃	○	○	○	○	○		平成 4 年 2 月 1 0 日
防災工作車 3 号車	〃	〃 5 3	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 1 年 2 月 4 日
〃	〃	〃 5 4	〃	○	○	○				昭和 5 2 年 1 月 1 9 日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 2 年 3 月 2 9 日
救急あおば号	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○		平成 元年 1 月 2 3 日
	携帯局	しょうずしょうぼう 7 1	〃	○	○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
	〃	〃 5 0 1	1w	○	○	○	○	○		平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 5 0 2	〃	○	○	○	○	○		平成 1 3 年 1 2 月 6 日
	〃	〃 5 0 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 8 年 8 月 2 3 日
	〃	〃 5 0 4	〃	○	○	○	○	○		平成 1 9 年 9 月 4 日
	〃	〃 5 0 5	〃	○	○	○	○			昭和 5 6 年 3 月 1 1 日
	〃	〃 5 0 6	〃	○	○	○	○			〃
	〃	〃 5 0 7	〃	○	○	○	○			昭和 5 7 年 2 月 2 3 日

池田分署

平成 21 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	市 町 村 波	県 内 波	全 国 波 1	全 国 波 2	全 国 波 3	流 対 協 波	購 入 年 月 日
ポンプ 3 号車	移動局	しょうずしょうぼう 3 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 8 年 3 月 2 8 日
団 本 軽 四 車	〃	〃 3 2	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 0 年 2 月 1 2 日
防災工作車 2 号車	〃	〃 3 3	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 2 年 3 月 1 8 日
	携帯局	〃 7 2	〃	○	○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
	〃	〃 3 0 1	1w	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
	〃	〃 3 0 2	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 3 0 3	〃	○	○	○	○			昭和 5 2 年 3 月 2 9 日
	〃	〃 3 0 4	〃	○	○	○	○	○		平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 3 0 5	〃	○	○	○	○	○		平成 9 年 3 月 1 9 日

3. 119番受信状況

平成20年1月1日～12月31日

区分 月別	火 災	救 急	救 助	問 い 合 わ せ	試 験	悪 戯	間 違 い	そ の 他	合 計
1 月	5	8 5		1 8	1 6	1	8	7	1 4 0
2 月		7 4	1	1 0	2 2	2	4	1 2	1 2 5
3 月	6	7 3	1	1 7	1 6	1	3	1 8	1 3 5
4 月		7 3	1	1 3	2 2	4	1	1 2	1 2 6
5 月		5 4	2	1 5	3 6	8	1 2	1 8	1 4 5
6 月	3	7 2		1 9	2 6	1	5	8	1 3 4
7 月	1	7 3	1	1 5	6 8	4	4	2 1	1 8 7
8 月	5	8 0		2 0	1 7	1	4	1 1	1 3 8
9 月		5 7		1 8	3 5	1 0	3	1 3	1 3 6
1 0 月		8 0	1	2 4	2 1	6	8	2 2	1 6 2
1 1 月	3	7 8	2	1 8	1 4	4	6	9	1 3 4
1 2 月	2	1 0 0	2	2 7	1 2	5	1 4	1 7	1 7 9
合 計	2 5	8 9 9	1 1	2 1 4	3 0 5	4 7	7 2	1 6 8	1, 7 4 1

4. 気象状況（観測地：消防本部）

平成20年1月1日～12月31日

区分 月別	天 気 日 数				気温(℃)		湿度(%)		最 多 風 向	平 均 風 速 (m/s)	降 雨 日 数	降 雨 量 (mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
1 月	12	15	4	—	13.7	-0.8	98	35	W	1.6	6	35.5
2 月	15	11	2	1	13.0	-2.0	98	41	W	3.5	8	26.5
3 月	17	8	6	—	18.5	0.0	98	18	W	2.1	10	84.5
4 月	18	8	4	—	25.0	5.0	98	25	E	2.4	7	68.5
5 月	14	11	6	—	29.0	9.0	98.5	26	E	2.1	11	137.0
6 月	8	17	5	—	28.5	15.5	95	39	E	1.4	11	103.5
7 月	20	11	—	—	34.0	19.0	82	46	E	1.9	3	36.5
8 月	18	11	2	—	36.6	20.0	96	48	E	2.0	7	77.5
9 月	13	15	2	—	31.0	16.5	97	39	E	1.8	12	86.5
1 0 月	19	11	1	—	26.5	12.0	97	44	E	1.6	8	71.5
1 1 月	18	12	—	—	21.0	3.5	97	40.5	W	2.2	5	37.0
1 2 月	17	13	1	—	17.0	-0.5	98	32	W	1.7	5	25.0
合 計	189	143	33	1	36.6	-2.0	98.5	18	E	2.0	93	789.5

- ・天気日数、最高気温、湿度、最多風向、平均風速は17時の観測値
- ・最低気温は10時の観測値

5. 気象情報受理状況

平成 20 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種 別 \ 月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
注 意 報 関 係	大 雨 注 意 報							2	2	1				5
	洪 水 注 意 報							2	2	1				5
	強 風 注 意 報	2	5	2	2					1		4	5	21
	波 浪 注 意 報	3	6	2	2					1		4	5	23
	濃 霧 注 意 報			1							1			2
	霧 注 意 報													
	雷 注 意 報			5	3	1	4	15	12	9	1		3	53
	高 潮 注 意 報													
	津 波 注 意 報													
	乾 燥 注 意 報	4	4	6	4	4					1	3	4	30
	大 雪 注 意 報	1												1
	大雪電線着雪注意報													
	霜 注 意 報			10	4									14
	風 雪 注 意 報	2	3											5
	小 計	12	18	26	15	5	4	19	16	13	3	11	17	159
警 報 関 係	大 雨 警 報													
	洪 水 警 報													
	強 風 警 報													
	暴 風 警 報													
	波 浪 警 報													
	高 潮 警 報													
	大 雪 警 報													
	津 波 警 報													
	小 計													
気 象 情 報 関 係	大 雨			1	6	12	11	9	22	27	4			92
	小 雨							1	4	1				6
	強 風	1												1
	大 雪	6	1											7
	雪	6	14									2		22
	雷				6	11	11	3	16	27	4			78
	高 波	6	5											11
	低 気 圧													
	台 風									16				16
	強い冬型の気圧配置 梅雨の時期（四国地方）													
	地 震	3	4	10	12	17	39	15	9	6	7	7	10	139
	各 地 の 震 度	1	1	4	6	2	2	3	4	1	2	3	2	31
	津 波			2		3		8					2	15
	その他の気象に関する情報			4	6	14	30	17	24	32	4	2	8	141
	小 計	23	25	21	36	59	93	56	79	110	21	14	22	559
	火 災 気 象 通 報	4	8	4	3							2	3	24
合 計		39	51	51	54	64	97	75	95	123	24	27	42	742

火災統計

火 災 統 計

1. 火災発生状況

区 分 \ 町 別		土 庄 町		小 豆 島 町				合 計		
				内 海 方 面		池 田 方 面				
				20 年	19 年	20 年	19 年	20 年	19 年	20 年
全 火 災		件 数	6	9	8	12	1	3	15	24
		損害額 千円	3, 182	30, 765	816	24, 258	30	125	4, 028	55, 148
火 災 種 別	建 物	件 数	4	6	4	6	1	2	9	14
		焼損床面積 m²	214	312	86	347	0	0	300	659
		焼損表面積 m²	0	2	4	76	0	6	4	84
		損 害 額 千 円	3, 182	24, 076	616	24, 020	30	125	3, 828	48, 221
	林 野	件 数	1	1	0	0	0	0	1	1
		焼 損 面 積 a	12	1	0	0	0	0	12	1
		損 害 額 千 円	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	件 数	0	0	1	0	0	0	1	0
		損 害 額 千 円	0	0	150	0	0	0	150	0
	船 舶	件 数	0	0	0	1	0	0	0	1
		損 害 額 千 円	0	0	0	200	0	0	0	200
	航空機	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0
		損 害 額 千 円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	件 数	1	2	3	5	0	1	4	8
		焼 損 面 積 a	2	1	4	5	0	1	6	7
		損 害 額 千 円	0	6, 689	50	38	0	0	50	6, 727
り 災 世 帯 数		2	3	1	4	1	2	4	9	
り 災 者 数 (人)		3	6	1	13	4	4	8	23	
死 者 (人)		0	1	0	0	0	1	0	2	
負 傷 者 (人)		1	0	0	1	0	3	1	4	
出火率（1 万人あたり）(件)		3. 82	5. 74	6. 75	7. 28	1. 93	1. 82	4. 58	7. 46	

2. 時間別火災状況

区 分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積						損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 a	そ の 他 a	船 舶	航 空 機	
								床面積 ㎡	表面積 ㎡					
0 時 ～ 1 時														
1 ～ 2														
2 ～ 3	1	1						33						1, 157
3 ～ 4														
4 ～ 5														
5 ～ 6														
6 ～ 7														
7 ～ 8														
8 ～ 9	1						1				2			50
9 ～ 1 0	1	1												30
1 0 ～ 1 1	2	2						46						376
1 1 ～ 1 2														
1 2 ～ 1 3	1	1						127						1, 820
1 3 ～ 1 4	3	1		1			1		3		1			212
1 4 ～ 1 5														
1 5 ～ 1 6	3	2	1					50	1	12				133
1 6 ～ 1 7														
1 7 ～ 1 8														
1 8 ～ 1 9	2	1					1	44						250
1 9 ～ 2 0														
2 0 ～ 2 1														
2 1 ～ 2 2	1						1							
2 2 ～ 2 3														
2 3 ～ 2 4														
不 明														
合 計	15	9	1	1			4	300	4	12	3			4, 028

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	損害額 (千円)
月														
火						1							1	
水						2							2	435
木	1		2			1						1	5	2,044
金	1		1					1	1				4	1,519
土	1			1									2	30
日								1					1	
不 明														
合 計	3		3	1		4		2	1			1	15	4,028

4. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	1 1 9	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
本 署	5	1				6	3,182
内 海 分 署	4	1		3		8	816
池 田 分 署				1		1	30
合 計	9	2		4		15	4,028

5. 原因別火災状況

区 分 原因別	火災 件数	火 災 種 別						焼 損 面 積				損 害 額 (千円)
		建	林	車	船	航	そ	物		林	そ	
		物	野	両	舶	空	の	床面積 ㎡	表面積 ㎡	野 _a	他 _a	
ガ ス コ ン ロ	2	2						33	1			1,176
不 明	6	2					4	44	3		6	362
ス ト ー ブ	1	1						4				91
電 気 器 具	1	1										30
燃 え さ し	1	1						127				1,820
煙 草												
焚 き 火	1		1							12		
放 火												
バ ー ナ ー	2	2						92				399
そ の 他	1			1								150
合 計	15	9	1	1			4	300	4	12	6	4,028

6. 建物火災用途別火災状況（月別）

月別 用途別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	床面積 ㎡	表面積 ㎡	損害額 (千円)
住 宅	1		2	1								1	5	164	1	3,117
ク ラ ブ																
店 舗																
旅 館																
物 置																
共 同 住 宅							1						1		3	62
住宅・倉庫																
納 屋						1							1	42		285
診 療 所																
学 校																
倉 庫	1		1										2	94		364
合 計	2		3	1		1	1					1	9	300	4	3,828

7. 過去10ヶ年火災状況

区分 年別	火 災 件 数				損 害 額 (千円)			
	土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
		内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成11年	5	6	3	14	16,620	416	3,214	20,250
平成12年	9	6	5	20	1,402	1,371	77	2,850
平成13年	8	6	4	18	22,886	595	1,965	25,446
平成14年	7	6	2	15	932	253	39	1,224
平成15年	8	7	6	21	877	27,575	365	28,817
平成16年	7	7	3	17	28,767	3,674	489	32,930
平成17年	10	11	3	24	71,086	5,199	4,225	80,510
平成18年	12	3	0	15	6,564	92	0	6,656
平成19年	9	12	3	24	30,765	24,258	125	55,148
平成20年	6	8	1	15	3,182	816	30	4,028
合 計	81	72	30	183	183,081	64,249	10,529	257,859

救急統計



救 急 統 計

1. 事故別、救急出場状況

平成 20 年 1 月 1 日～12 月 31 日

月 別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
事 故 別	出 場 件 数	114	97	100	104	85	95	97	106	75	118	106	119	1,216
	搬 送 人 員	109	94	94	97	81	89	92	103	72	110	102	109	1,152
火 災	出場件数													
	搬送人員													
自然災害	出場件数													
	搬送人員													
水 難	出場件数			1				1	1	1		1		5
	搬送人員			1				1	2	1		1		6
交 通	出場件数	7	13	4	12	7	7	5	7	8	12	11	14	107
	搬送人員	11	13	4	13	7	7	5	7	9	11	13	14	114
労働災害	出場件数	1	1		1	1	2	1	1		2	2	1	13
	搬送人員	1	1		1	1	2	1	1		2	2	1	13
運動競技	出場件数			1		6	2			3				12
	搬送人員			1		6	3			3				13
一般負傷	出場件数	12	10	15	14	17	12	15	17	12	23	14	19	180
	搬送人員	12	10	14	13	17	11	13	17	12	20	14	18	171
加 害	出場件数				1		2				1			4
	搬送人員				1		2				1			4
自損行為	出場件数	1		1	1	1	1		1	1	3		1	11
	搬送人員	1			1	1			1	1	3		1	9
急 病	出場件数	70	58	58	50	37	53	64	60	43	50	58	70	671
	搬送人員	64	55	56	47	34	49	63	57	40	48	55	64	632
そ の 他	出場件数	23	15	20	25	16	16	11	19	7	27	20	14	213
	搬送人員	20	15	18	21	15	15	9	18	6	25	17	11	190

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	1 1 9 番	一般加入	警察電話	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	909	271	15	8	13	1,216

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照会回数	1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目	5 回 目	6 回 目 以 上	計
搬送人員	1,133	17	1			1	1,152

4. 時間別出場状況

時間別 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
急病	30	21	19	51	70	84	76	58	70	67	56	30	632
交通事故	1	1	1	4	15	9	23	18	22	16	3	1	114
一般負傷	6	5	3	7	20	28	18	18	17	15	20	14	171
転院搬送	6		5	6	28	29	30	35	19	16	8	7	189
その他	1	2	2		4	12	6	6	8	3	1	1	46
合計	44	29	30	68	137	162	153	135	136	117	88	53	1,152

5. 曜日別救急出場件数

曜 日 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合 計
救 急 件 数	176	165	177	167	174	204	153	1,216

6. 救急隊員の行った応急処置件数

事 故 別 処 置 別	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
応 急 処 置 対 象 人 員	628	111	167	216	1,122
止 血	2	4	13	3	22
固 定	6	86	77	13	182
人 工 呼 吸	1			1	2
心 マ ッ サ ー ジ					
心 肺 蘇 生	35	2	9	5	51
酸 素 吸 入	251	20	28	99	398
気 道 確 保	58	3	11	10	82
保 温	78	12	20	23	133
被 覆	5	28	45	12	90
在 宅 療 法 継 続	5				5
ショックパンプによる血圧保持					
除 細 動	1				1
静 脈 路 確 保	3				3
そ の 他 の 応 急 処 置	212	1	13	27	253
血 圧 測 定	581	99	145	180	1,005
心 音 ・ 呼 吸 音 等 の 聴 取	145	25	23	14	207
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	590	103	150	200	1,043
心 電 図	415	28	40	82	565

7. 現場到着所要時間別出場状況

時間 事故別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間 (分)
急病	57	191	255	144	24	671	7.5
交通	14	41	34	17	1	107	6.1
一般負傷	21	53	61	28	17	180	7.7
その他	44	146	45	16	7	258	4.8
合計	136	431	395	205	49	1,216	

8. 収容所要時間別搬送人員

所要時間 事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
急病	5		215		193		200		18		1		632	
交通	1		50		30		33						114	
一般負傷	3		53		60		46		9				171	
その他	5		46		40	1	35		99	98	10	9	235	108
合計	14		364		323	1	314		126	98	11	9	1,152	108

9. 年齢区分別搬送人員

事故別 年齢別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										2	3	5
乳幼児				1			7			15	7	30
少年			1	13		6	3			10	1	34
成年			3	55	10	7	49	2	6	153	60	345
老人			2	45	3		112	2	3	452	119	738
合計			6	114	13	13	171	4	9	632	190	1,152

１０．発生場所別搬送人員

場所別 事故別	住 宅	公衆場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	470	121	19	15	7	632
交 通		5		107	2	114
一 般 負 傷	91	37	2	19	22	171
そ の 他	9	205	10	3	8	235
合 計	570	368	31	144	39	1,152

１１．管轄外転院搬送件数

搬送種別 年 別	総 数	巡 視 艇	ヘリコプター	フ ェ リ ー	海上タクシー (高速艇等)	合 計
平成１４年	116	12	10	92	2	116
平成１５年	144	13	14	114	3	260
平成１６年	147	16	9	116	6(1)	407
平成１７年	178	9	14	132	23(4)	585
平成１８年	177	5	14	143	15(2)	762
平成１９年	146	7	20	106	13(2)	908
平成２０年	144	3	17	109	15(1)	1,052

１２．傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡			2	2	1		3		2	26		36
重 症				10	2		41	1	3	77	42	176
中 等 症			2	32	4	2	54	1	2	266	105	468
軽 症			2	70	6	10	73	2	2	262	8	435
そ の 他						1				1	35	37
合 計			6	114	13	13	171	4	9	632	190	1,152

1 3. 小豆2町、年別救急出場状況

年 別 町 別		11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	10年間 合 計
土庄町	出場件数	509	540	539	566	562	621	714	704	594	620	5,969
	搬送人員	489	518	514	547	530	569	673	658	551	585	5,634
小豆島町	内海方面	出場件数	380	420	459	466	475	461	501	441	458	4,489
		搬送人員	373	403	433	435	447	439	484	434	455	4,311
	池田方面	出場件数	156	145	138	168	149	160	149	169	167	1,581
		搬送人員	149	147	129	158	144	161	149	160	158	1,533
郡 外	出場件数	2	2	1	0	5	5	3	2	2	1	23
	搬送人員	2	2	1	0	5	5	3	2	2	1	23
合 計	出場件数	1,047	1,107	1,137	1,200	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	12,062
	搬送人員	1,013	1,070	1,077	1,140	1,126	1,174	1,338	1,243	1,168	1,152	11,501

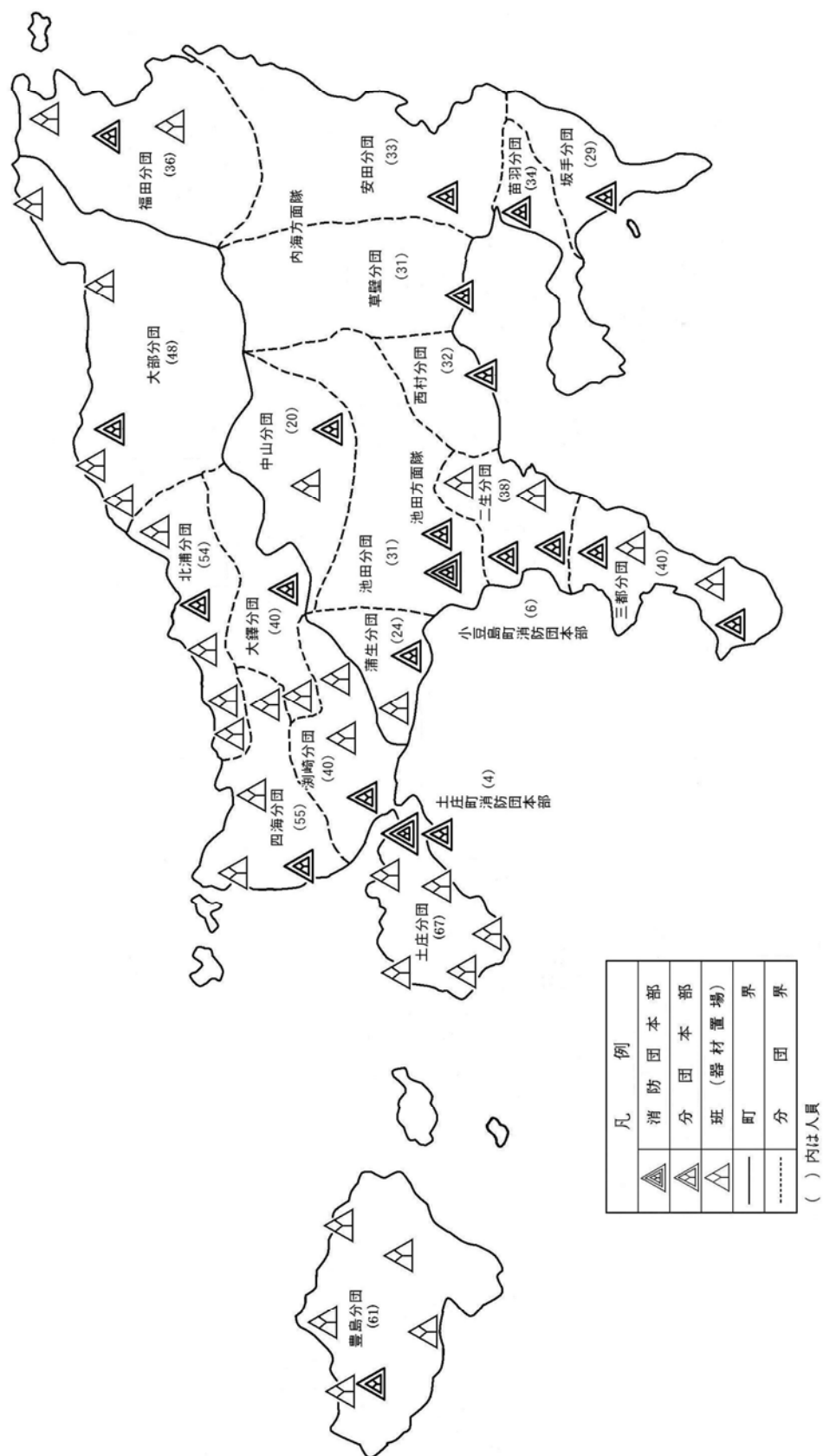
1 4. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

年 別 町 別	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	合 計
急 病	595	628	621	720	673	662	770	724	703	671	6,767
交 通	147	120	139	126	112	101	102	91	85	107	1,130
一 般 負 傷	144	154	174	147	168	207	194	194	191	180	1,753
そ の 他	161	205	203	207	238	277	332	287	244	258	2,412
合 計	1,047	1,107	1,137	1,200	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	12,062

消 防 団



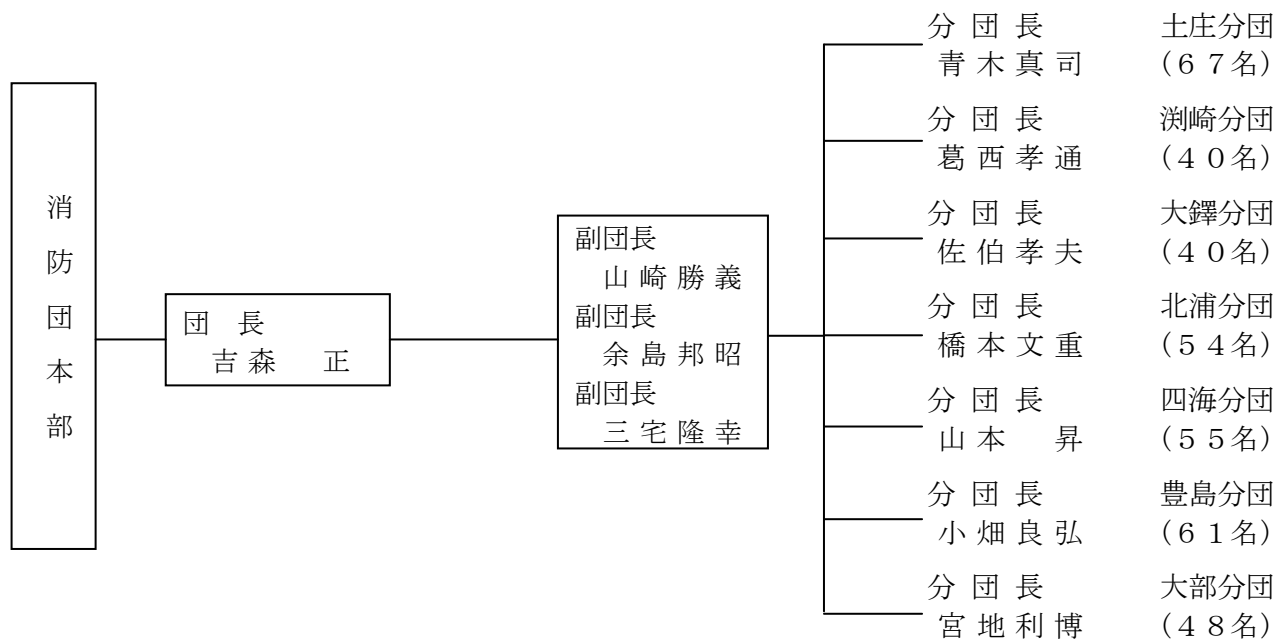
1.2 町消防団現勢分布図



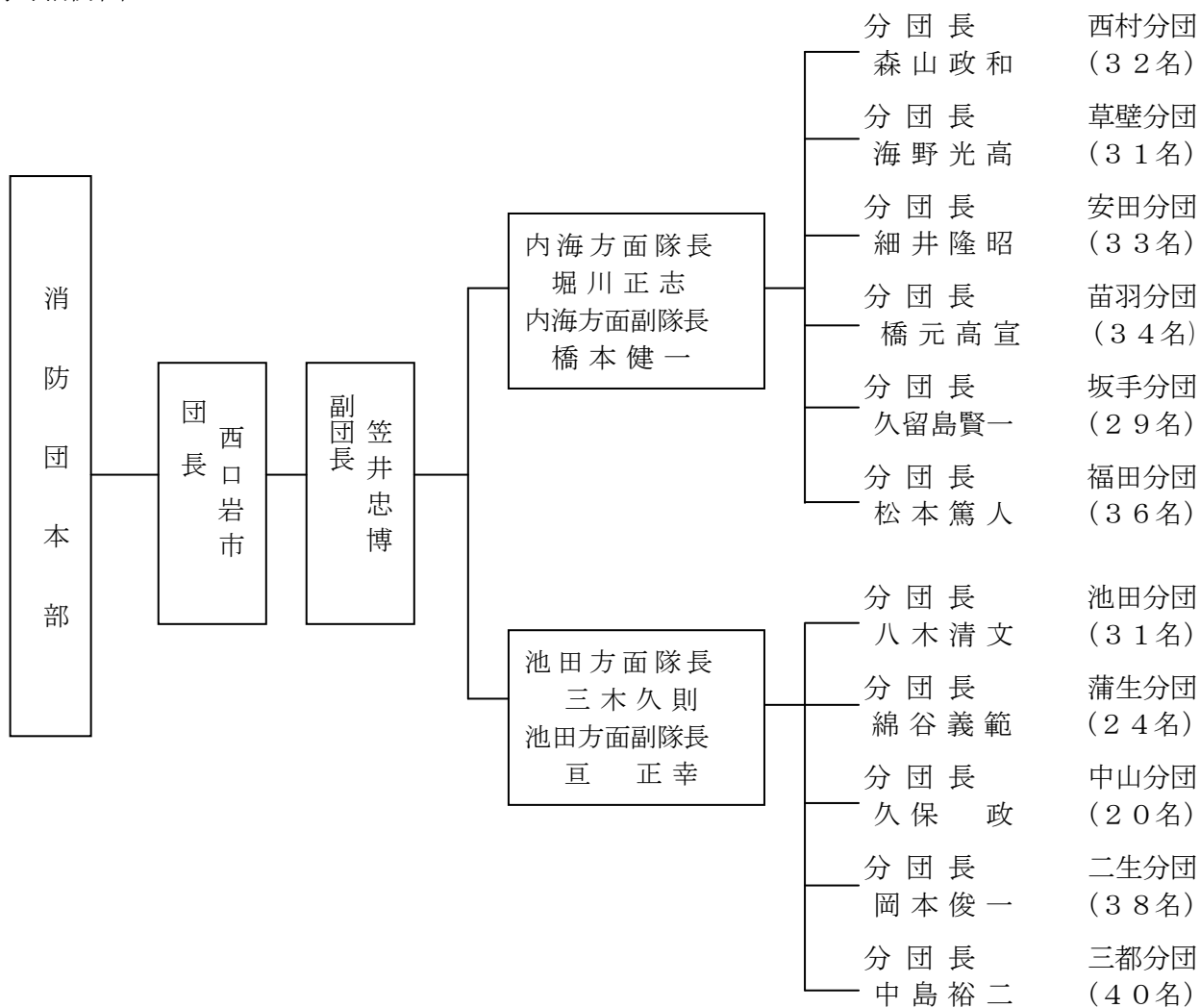
2. 消防団の組織、機構

平成 21 年 4 月 1 日現在

土庄町消防団



小豆島町消防団



3. 消防団員の勤務年数及び年齢
(勤務年数)

平成 21 年 4 月 1 日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 年 未 満	23	16	39
1 年 ～ 5 年	83	72	155
5 年 ～ 1 0 年	83	71	154
1 0 年 ～ 1 5 年	85	62	147
1 5 年 ～ 2 0 年	39	49	88
2 0 年 ～ 2 5 年	34	46	80
2 5 年 ～ 3 0 年	11	33	44
3 0 年 ～ 3 5 年	6	2	8
3 5 年 以 上	5	3	8
合 計	369	354	723
平 均 勤 続 年 数	10.5	12.3	11.4

(年齢)

平成 21 年 4 月 1 日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 8 才 ～ 2 0 才	1	1	2
2 1 才 ～ 2 5 才	12	11	23
2 6 才 ～ 3 0 才	59	61	120
3 1 才 ～ 3 5 才	105	56	161
3 6 才 ～ 4 0 才	60	78	138
4 1 才 ～ 4 5 才	73	52	125
4 6 才 ～ 5 0 才	32	64	96
5 1 才 ～ 5 5 才	17	22	39
5 6 才 ～ 6 0 才	7	7	14
6 0 才 以 上	3	2	5
合 計	369	354	723
平 均 年 齢	37.7	38.9	38.3

4. 消防団員数及び装備状況
(団員数)

平成 21 年 4 月 1 日現在

階級別 団 別	団 長	副 団 長	方 面 隊 長	方 面 副 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
土 庄 町 消 防 団	1	3			7	7	14	47	290	369
小 豆 島 町 消 防 団	1	1	2	2	11	14	14	57	252	354
合 計	2	4	2	2	18	21	28	104	542	723

(装備状況)

平成21年 4月 1日現在

種 別 団 別	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	無線機
土 庄 町 消 防 団	7	27	33	29
小豆島町消防団	3	21	19	42
合 計	10	48	52	71

5. 町別消防車両等種別現況

平成21年 4月 1日現在

		種別	年式	車名	ポンプ型式	馬力数	購入年月日		
土 庄 町 消 防 団	土 庄 分 団ポンプ車	A-2	S62	三 菱	二段バランスタービン	110	6 2 .	9 .	8
	湊 崎 分 団 "	"	H 5	"	"	130	5 .	9 .	3 0
	大 鐸 分 団 "	"	H15	イ ス ズ	"	"	1 5 .	2 .	2 5
	北 浦 分 団 "	"	H 7	三 菱	"	"	7 .	8 .	2 5
	四 海 分 団 "	"	H 9	"	"	"	9 .	9 .	2
	豊 島 分 団 "	"	H12	"	"	"	1 2 .	9 .	2 5
	大 部 分 団 "	"	H 3	"	"	"	3 .	1 0 .	2 2
	団 本 部 連 絡 車		H 6	ス ズ キ		28	6 .	5 .	2 3
	指 揮 広 報 車		H 4	ト ヨ タ		105	4 .	8 .	5
	団 本 部 積 載 車		H 7	日 産		98	7 .	1 2 .	2 6
	土 庄 分 団 積 載 車		H 3	ス ズ キ		30	3 .	6 .	2 5
	"		H 2	"		"	2 .	3 .	2 0
	"		H 元	"		"	元 .	1 1 .	2 9
	"		S63	"		28	6 3 .	7 .	1 1
	"		S62	ダイハツ		"	6 2 .	5 .	2 8
	大 鐸 分 団 積 載 車		H10	三 菱		30	1 0 .	4 .	6
	"		H13	"		"	1 3 .	1 1 .	5
	"		H18	ダイハツ		33	1 8 .	2 .	1 3
	北 浦 分 団 積 載 車		H 4	ホ ン ダ		38	4 .	4 .	2 8
	"		H 3	"		"	3 .	1 1 .	7
	"		"	"		"	"	"	"
	"		H 8	三 菱		30	8 .	1 1 .	1 1
	四 海 分 団 積 載 車		H 4	ホ ン ダ		38	4 .	2 .	2 7
	"		"	"		"	4 .	4 .	2 8
	"		H 9	"		"	9 .	3 .	1 2
	豊 島 分 団 積 載 車		H 2	三 菱		30	2 .	1 1 .	1 6
	"		H 元	"		"	元 .	5 .	2 6
	"		S63	"		"	6 3 .	7 .	1
	"		"	"		"	"	"	"
	"		H18	"		35	1 8 .	2 .	1 5
	"		H18	ホ ン ダ		46	1 8 .	7 .	2 0
	大 部 分 団 積 載 車		H 6	三 菱		30	6 .	6 .	1 7
	"		"	"		"	"	"	"
	"		S63	"		"	6 3 .	1 1 .	2 7
	"		H 6	ス ズ キ		26	6 .	6 .	1 7
	"		"	ダイハツ		28	"	"	"

小豆島町消防団内海方面隊	福田分団 ポンプ車	A-2	H 2	三 菱	二段バランスタービン	120	2. 1 1. 2 2
	坂手分団 "	"	H 元	"	"	"	元. 9. 2 6
	団本部 積載車		H 8	ト ヨ タ		105	8. 1 0. 2 3
	西村分団 積載車		H19	三 菱		110	1 9. 3. 1 9
	" 軽四積載車		S62	ス ズ キ		28	6 2. 1 1. 2 7
	草壁分団 積載車		H19	日 産		98	1 9. 2. 1 9
	"		H 4	ト ヨ タ		105	4. 8. 2 8
	安田分団 積載車		H12	三 菱		105	1 2. 8. 2 9
	" 軽四積載車		H 7	ス ズ キ		42	7. 7. 2 4
	苗羽分団 積載車		H 元	ト ヨ タ		105	元. 2. 2 7
	" 人員搬送車		H 9	日 産		98	9. 9. 1 8
	坂手分団軽四積載車		H 8	ス ズ キ		"	8. 9. 2 7
	福田分団軽四積載車		"	"		"	8. 3. 1 8
	"		H12	"		49	1 2. 1 1. 9
	"		"	"		"	1 2. 1 1. 1 0
小豆島町消防団池田方面隊	池田分団 ポンプ車	A-2	H 7	三 菱	二段バランスタービン	110	7. 1 0. 1 2
	団本部 積載車		H 6	日 産		91	6. 1. 2 8
	団本部 軽四積載車		H 13	ス バ ル		34	1 3. 4. 1
	蒲生分団 積載車		"	三 菱		94	1 3. 9. 4
	中山分団 積載車		H12	"		"	1 2. 2. 2 8
	二生分団 積載車		H15	"		"	1 5. 9. 3
	"		H10	ト ヨ タ		91	1 0. 3. 1 0
	三都分団 積載車		H14	三 菱		94	1 4. 8. 2 0.
	"		H11	"		"	1 1. 3. 1 7

6. 消防団員報酬調

平成 21 年 4 月 1 日現在

階 級 団 別	団 長	副団長 (方面正副隊長含む)	分団長 (方面副隊長含む)	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

平成 21 年 4 月 1 日現在

区 分 団 別	水・火災出動 (1回あたり)	警 戒 出 動 (1回あたり)	訓 練 出 動 (1回あたり)
土庄町消防団	1,800	1,800	1,800
小豆島町消防団	1,800	1,800	1,800